令和２年度
事 業 報 告 書

《理念》

共生　協働　自律

社会福祉法人　大館市社会福祉事業団

目次

令和２年度　大館市社会福祉事業団　本部　事業報告.....1

令和２年度　大館市養護老人ホーム成章園　事業報告.....13

令和２年度　大館市特別養護老人ホームつくし苑　事業報告.....21

令和２年度　大館市デイサービスセンター大滝　事業報告.....37

令和２年度　大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション事業報告.....41

令和２年度　ケアプランセンターおおたき　事業報告.....44

令和２年度　ケアプランセンターはぎのだい　事業報告.....48

令和２年度　大館市地域包括支援センターおおたき　事業報告.....51

令和２年度　大館市ケアハウスほうおう　事業報告.....61

令和２年度　大館市立老人福祉センター　事業報告.....69

令和２年度　大館市ふれあいセンターやまびこ　事業報告.....72

令和２年度　大館市へき地保育所　事業報告.....76

令和２年度　年間事業報告（二井田保育所）.....77

令和２年度　年間事業報告（真中保育所）.....80

令和２年度　年間事業報告（下川沿保育所）.....83

令和２年度　年間事業報告（沼館保育所）.....86

令和２年度　年間事業報告（花岡保育所）.....89

令和２年度　年間事業報告（矢立保育所）.....91

令和２年度　年間事業報告（長木保育所）.....94

令和２年度　大館市社会福祉事業団　本部　事業報告

令和２年度は、新型コロナウイルス感染防止策の徹底に明け暮れた一年となった。高齢者施設における感染防止のため、施設入居者は面会制限を余儀なくされ、また保育施設等においても様々な交流事業が中止となるなど、事業運営に大きな影響が見られた。人的な交流を制限されることにより利用者等には不便を強いたことになるが、サービスの質が低下しないよう努めた。職員も相当なプレッシャーの中で「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」との意識で業務に臨んでいる。当面の間は感染防止策の継続が必要となるため、法人全体また全ての職員が一丸となって感染防止の徹底に努める。

高齢者福祉事業については、収支の適正化を法人全体の課題として挙げ対策を講じてきたところである。令和２年度は、施設サービスにおける収支差額の改善傾向が続いているものの、在宅サービスでは利用者数の減少傾向に伴う経営課題が明らかになりつつある。地域の動静を良く把握していくとともに、サービス提供体制の見直し等を行い収支の適正化に努める。

事業団としての運営開始以来業務委託としてきた厨房業務について、令和２年度は直営化への移行に取り組んだ。コスト管理体制の整備並びに新調理システム化を見越した人員配置の柔軟性を大きな目的としてすえ、直営化に舵を切ることとなった。しかし、職員採用が計画通りに進まず、結果的には三施設のうち一施設は業務委託を継続することとなった。今後は、調理にかかるコストの適正管理とともに、新調理システムの導入の検討継続、適正な人員配置の検討並びに業務委託との対比等を行い、より適切な食事提供のあり方を模索していく。

福利厚生面においては、働き方改革関連法の完全施行が令和３年４月１日に予定されていたことから、「同一労働同一賃金」に対応すべく、関連規程等の改正を行った。今後も、規程等の改正後の状況をモニタリングしながら、職員との意思疎通を密に図り、職員が安心して働くことができる労働環境を整備していく。

地域貢献としては、近隣事業所と協力して成章小学校へ備品等の贈呈をすることができた。最後になるが、新型コロナウイルス感染防止により地域住民との交流が制限されている中においても、可能な工夫を重ねながら地域にとって身近な法人として地域住民とともに歩んでいくことを誓い、事業報告とする。

令和３年３月３１日

社会福祉法人大館市社会福祉事業団
理事長　長岐　利堅

1.　部会・委員会活動報告

□　人財育成委員会

キャリアパスにおける「ステップ５・指導職・監督職」の階層で実施したスーパービジョンでは、「スーパーバイジー（受講者）に対するフォローアップ」に取り組んだ。令和２年度の取り組みにおいては、スーパーバイジーが抱える課題に対する

スーパーバイジー自身の気づきを確認することはできた。しかし、まだその後のフォローアップも含めて検討が必要だと認識している。

自己啓発援助制度（SDS）の運用において、資格取得のための SDS 利用の啓発を職員に対して行った。しかし、新型コロナウイルス感染症のため研修自体が中止になる等の影響により、SDS の申請実績の増加には結びつかなかった。令和 2 年度中に、事業団全事業所においてオンライン研修が実施可能な設備が整ったことから、引き続き SDS の活用を促進するための活動を行う。

（1） 活動実績報告

階　層	実施月	テーマ
ステップ 0（経験 0～１年）	4～3	新採用職員研修
ステップ１（経験１～２年）	6	コミュニケーション
	8	サービス管理とリスク管理Ⅰ
ステップ２（経験２～３年）	1	グループスーパービジョン
	7～8	介護保険制度の理解
	１０	サービス管理とリスク管理Ⅱ
ステップ３（経験４～５年）	6	介護（看護）過程の理解
	9	リーダーシップの理解
ステップ４（６年～）	１１	原因分析と再発防止
ステップ５（指導職候補）	1	グループスーパービジョン
指導職（副主任）	6	内部監査員研修
	9～１１	グループスーパービジョン
監督職（主任・係長）	9～１１	グループスーパービジョン
	１１～１	外部研修の復命研修「福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程（チームリーダーコース）」
管理職及び人財育成委員会	6～8	グループスーパービジョン
ステップ１～監督職	6	品質目標活動報告会（高齢者事業所のみ）

□　衛生委員会

衛生委員会の設置目的である職員の疾病予防と健康の維持増進、職場環境の改善向上を図るため、令和 2 年度は次の二点を重点的に取り組んだ。

ひとつは職員のメンタルヘルスに関する取組みであり、「職場における心の健康づくり計画」を策定した。3 カ年の具体的な目標と活動内容を設定し、計画的かつ継続的に取り組んでいくものとなる。

もうひとつは労働災害予防への取組みであり、メンタルヘルスに関する取組みと同様に計画的継続的な取り組みを図るための基盤づくりに取り組んだ。

そのほか、ハラスメント対策については年度始めに職員への周知活動を行い、年間２件の相談を受けている。令和元年度に整備した相談の流れに添って、相談者及びハラスメント行為が疑われる者への対応を行った。

また、メンタルヘルス不調や傷病により休職するに至った職員への復職に至る対応等を整理し、対象となる職員へも説明できるよう手順としてまとめた。今後は、相談者と担当者がこの手順を活用していくことで、職員が安心して職場復帰できるように支援していきたい。

令和３年度以降は、先に述べた二点の重点計画を確実に実践していくこと、また、受動喫煙防止対策や健康支援に関する情報発信なども引き続き行うことで、全職員が心と身体の健康を保って活き活きと働ける職場であるよう取り組む。

（１）活動実績報告

項　目	件数	概　要	顛　末
ハラスメント相談	2	それぞれ、モラルハラスメント、不適切な対応として区分し対応	２件とも終結
メンタルヘルス不調者の職場復帰支援	3	職場復帰委員会等を通じて相談対応	３件とも復職過程（継続対応）
労働災害	1	業務中のギックリ腰	終結

□　感染症予防対策委員会

令和２年度は「新型コロナウイルス感染症」の感染予防に関わる対応策について検討を重ね取り組んだ。

上半期は、国の対策や県の警戒レベルに基づき、法人全職員が一丸となって感染予防策に取り組めるよう、全国の感染者発生状況の把握、感染予防対応に関する方針を随時発信し周知した。また、職員及び在宅サービスの利用者・家族の健康状態の把握に努めた。情報発信するツールとしてホームページや広報誌を活用し、感染防止策の注意喚起に取り組んだ。

下半期は、感染予防策もある程度は周知されたことから、平時の備えと有事の対応策の検討を中心に取り組んだ。拡大防止対策と感染者発生時の対応に関しては、平時の備えが重要と捉え、施設単位で行う内部のマニュアル見直しと職員に対する研修等の実施状況を確認した。また法人委員会の対応策として、衛生用品の個数管理、感染者発生時の初動対応フローの作成、法人内における情報の集約結果をまとめ、関係機関、報道機関並びに地域住民等の外部に情報発信するための「ポジションペーパー」の作成に取り組んだ。

今後も新型コロナウイルス感染者発生時に備え、迅速な情報伝達と情報共有するための体制整備（通信情報機器の活用）や、風評被害の防止に向けた対策に取り組む。

(1) 国、県の状況と法人の対応

時期・内容	法人（委員会）の対応
R2.2 全国の学校に臨時休業要請	◆　職員への通知 ・体調管理と、体調不良時の報告の徹底 ・外出時の感染予防策の徹底 ・歓送迎会中止と、イベント参加の自粛 ◆　外部委託業者への通知 ・11 社に対し感染拡大防止に関する対応について通知と依頼
R2.3	◆　職員への通知 ・東京、大阪を中心とする感染拡大地域へ往来する場合、報告・相談することを追加 ・マスクが供給できない状況になり、使い捨てマスクの使用制限、在庫管理開始。法人で布マスクを購入、職員へ配布
R2.4 緊急事態宣言（7 都府県）、その全国に拡大 福祉施設へ布マスク配布	◆　職員への通知 ・出勤前の体温測定と記録の周知 ・再利用可能なマスクの使用 ・緊急事態宣言の出た地域への往来自粛 ・施設面会の制限開始（オンライン面会のみ～6/3 まで） ・帰省者のいる利用者、その家族に対し健康状態の観察強化 ・休憩時間の過ごし方について「三密」を避けた行動周知 ◆　感染対応に関連様式の制定 ・「感染対策時における入館受付簿」 ・「職員健康観察チェックシート」
R2.5（秋田県）感染拡大地域への往来自粛要請 緊急事態宣言全面解除 新しい生活様式の実践例 高齢者施設におけるオンライン面会の推奨	◆　職員への通知 ・会食や宴会、会食を伴う会合への参加自粛を追加 ・特定警戒 8 都道府県への往来の自粛継続 ◆　職員への通知 ・三密条件が重なる場での会食、不特定多数での宴会等への参加自粛 ・5 都道県への往来、帰省を控えるよう周知
R2.6 （秋田県）都道府県をまたぐ移動自粛の要請緩和	◆　職員への通知 ・三密条件が一つでも重なる場所での会食を避ける ・地域の感染状況に注意し、感染予防対策を十分にとる ・自身や家族の行動履歴を把握する ◆　面会制限解除（面会場所を限定し、仕切り越し面会）～7/30 まで
R2.7 （秋田県）首都圏などとの往来自粛要請解除	◆　職員への通知 ・2 週間以内に感染者が発生した地域への往来自粛。同じく家族帰省者に対する対応も帰省前後 2 週間の行動自粛と健康

時期・内容	法人（委員会）の対応
	観察記録の依頼
R2.8 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」	◆　秋田県内での発生を受け面会制限（オンラインのみ） ◆　職員への通知 ・人の往来が多くなる 8/31 まで面会は全てオンライン面会 ・職員へ接触確認アプリ COCOA のインストール協力依頼 ◆　感染者発生時の対応検討 ・感染者発生時、必要な衛生用品等の在庫数確認と確保 ・法人内の職員、利用者に感染者が発生した場合、デイサービスの営業を停止し、法人内応援職員の確保をすることを決定
R2.9	◆　感染者発生時の対応検討 ・「新型コロナウイルス感染症　発生時の法人初動フロー」制定 ・法人内各施設で感染者発生時の対応マニュアル整備 ◆　新型コロナウイルス感染症緊急包括支援給付金（介護分）の申請
R2.10 ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援給付金（介護分）に関する通知 ・全国的に使い捨てグローブの流通制限	◆　3 施設面会体制について、オンライン面会から感染予防対策を講じた面会への切り替え基準を決定。「オンライン面会～県内感染者発生、人の移動が多くなる時期」「感染予防対策を講じた面会～県内に感染者発生から 2 週間が経過し、新たな感染者が発生してない」 ◆　3 施設の感染者発生時の対応マニュアル作成と在宅事業所のサービス提供方法について進捗状況を確認 ◆　衛生用品の在庫数を確認
R2.11 ・県内クラスター発生	◆　感染者発生時、対外への情報発信は法人で対応することとし「ポジションペーパー」の作成を開始 ◆　県が主催する「新型コロナウイルス感染症対策出前ワークショップ」を成章園にて実施
R2.12	◆　衛生用品在庫数について、発生後 2 週間分の在庫は確保できていることを確認 ◆　「感染リスクが高まる 5 つの場面」を職員に情報発信 ◆　外部研修「新型コロナウイルス感染症予防対策クラスター発生時の対応の実際について」の復命を受け、法人として平時の備えについて課題を確認
R3.1 ・11 都府県に緊急事態宣言発令 ・県の警戒レベル「2　強い注意喚起」に引き上げ	◆　施設全て原則としてオンライン面会に切替 ◆　感染者発生時に備え、「関係事業者一覧」を作成 ◆　「風評被害防野防止に向けた対応ガイドライン」を参考に「法人初動フロー」「ポジションペーパー」改訂

時期・内容	法人（委員会）の対応
・市内感染者発生 ・県内クラスター発生 ・感染者の相談先が「あきた新型コロナ受診相談センターからかかりつけ医に受診前に電話相談」に変更	
R3.2 ・緊急事態宣言延長	◆ やむを得ない理由のため緊急事態宣言発出地域に出向く予定のある職員は、予め上司に報告することを周知 ◆ 全国的に感染者が増加していることから感染予防対策の注意啓発を実施 ◆ 法人内に感染者が発生した時は外部へ情報を公表することを決定 ◆ へき地保育所で感染者が発生した時の動きについて、市の子ども課に対応を確認
R3.3 ・1 府 5 県緊急事態宣言解除 ・1 都 3 県緊急事態宣言延長	◆ ポジションペーパーに付随する、情報発信文書のひな形を作成

□ 災害・防犯委員会

令和 2 年度は、前年度に制定した「法人防犯マニュアル」を職員に周知するとともに、各事業所での防犯研修・訓練の開催の参考となるよう、管理職を対象として、大館警察署生活安全課署員を講師に招き研修を実施した。不審者への対応の要点を確認できた研修であり、今後の各事業所における訓練に役立てたい。

各事業所における避難訓練において、非常用持ち出し物品の「緊急連絡先一覧」が更新されていない事例があり、事業所毎に更新手順を定めた。

水防法の改訂により、つくし苑・ほうおう・やまびこの 3 施設が水害想定区域に該当となることから、「水害時の対応手順」を法人災害マニュアルに盛り込み改訂した。

□ 広報委員会

「ホームページのレイアウトならびにデザイン変更に取り組む」を重点目標のひとつに掲げ、旧式のデザインを改めることで、ホームページが見やすく、情報収集もしやすくなるよう委員会で検討を行い、令和 2 年 6 月にホームページのデザインを変更し公開した。

令和元年度のホームページ閲覧件数が年間 6,358 件（月平均 530 件）であったのに対し、令和 2 年度は年間 10,886 件（月平均 907 件）と、想定以上に閲覧件数が伸び、当初の目標を大きく上回り前年比 71.2%増となった。

新型コロナウイルス感染症に係る対応状況の発信が、ホームページ閲覧件数増加の要因のひとつであるとも思われるが、職員採用試験に関する情報提供、事業団広

報誌「ほほえみ」の掲載、施設の行事等に関するブログの掲載といった、閲覧する方々が興味を持ってもらえる内容の情報を提供できたことも閲覧件数の増加に繋がったと思われる。

引き続き、令和３年度もホームページ閲覧件数が年間で 10,000 件を上回るように、最新情報を発信し続けたい。

また、ホームページとは別に、幅広く、タイムリーな情報発信をする手段として、SNS の活用についての検討を行い、利用者数の多さ、タイムリーに情報発信ができるか、情報発信の手軽さはどうか等を基に検討した結果、「LINE」を活用することとし登録を行い、公式アカウントを取得した。

今後は、ひとりでも多く LINE の登録者が増えるようにホームページ、広報誌等で周知を図り、より多くの方々が事業団に興味を持ってもらえるような情報を発信していきたい。

□　栄養・給食部会

令和３年度からの調理業務体制の直営化に向け、内部の体制を検討しスムーズに移行していくため、新設の部会として活動を行った。

調理業務の直営化に向けた体制整備について、委託業者との調整を早くから行い、職員確保に向け取り組んできたが、計画通りの人材確保が難しく、残念ながら一施設は業務委託の継続となり、計画通りに進めることができなかった。三施設の直営化にむけては、今後も課題整理をしながら検討をしていきたい。

食事サービスの質を直営となっても維持するため、発注業務の研修、食品衛生管理の帳票類の整備、大量調理衛生管理マニュアルの作成、現場作業工程表の見直しを行い、直営化へスムーズに移行できるよう取り組んだ。

調理にかかるコスト削減策としては、三施設の共通献立に取り組み、委託先栄養士との在庫管理の情報共有を行いながら、献立作成に反映させることで、食材費の適正管理に努めた。

2.　役員会の状況

(1) 理事会・評議員会

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末
令和２年５月 27 日 定時理事会	書面決議 ※新型コロナ感染防止策により	理事　７名 監事　３名	議案第 10 号　令和元年度　事業報告書	承認
			議案第 11 号　令和元年度　決算報告書	承認
			議案第 12 号　定時評議員会の招集案	承認
			議案第 13 号　法人役員候補者の選任案	承認
			議案第 14 号　評議員選任解任委員会の招集案	承認
			議案第 15 号　評議員選任候補者の推薦案	承認
			議案第 16 号　事業団福祉サービス苦情解決第三者委員の選任案	承認

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末
令和２年６月19日 定時評議員会	やまびこ	評議員７名	議案第１号　令和元年度決算報告書 議案第２号　社会福祉充実残額の算定結果 議案第３号　法人役員の選任案	承認 承認 承認
令和２年６月30日 臨時理事会	書面決議	理事　７名 監事　３名	議案第17号　副理事長の選任案	承認
令和２年11月19日 臨時理事会	つくし苑	理事　７名 監事　３名	議案第18号　令和２年度　第２次資金収支補正予算案 議案第19号　事業団福祉サービス苦情解決第三者委員の選任案	承認 承認
令和３年３月19日 定時理事会	やまびこ	理事　６名 監事　３名	議案第１号　事業団職員就業規則の一部を改正する規則案 議案第２号　事業団定年退職者再雇用規程を制定する規程案 議案第３号　事業団職員給与規則の一部を改正する規則案 議案第４号　臨時的任用職員等就業規則の一部を改正する規則案 議案第５号　大館市養護老人ホーム成章園契約入所事業案 議案第６号　令和２年度　第３次資金収支補正予算案 議案第７号　令和３年度　大館市社会福祉事業団事業計画書案 議案第８号　令和３年度　資金収支予算案 議案第９号　令和３年度　職員採用計画案 議案第10号　臨時評議員会の招集案 議案第11号　管理者の選任案	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和３年３月30日 臨時評議員会	やまびこ	評議員４名	報告事項１　令和３年度事業計画書について 報告事項２　令和３年度資金収支予算について 報告事項３　令和２年度理事会の執行状況について 報告事項４　役員等の任期満了に伴う今後の日程等について	

(2) 監事監査会

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末
令和２年５月15日	つくし苑	監事　３名	令和元年度事業の執行及び収支決算について	承認

3. 職員の状況

令和３年３月31日現在　※兼務及び委託は実数に含まず

施設名	本部	成章園（特定含）	つくし苑（短期含）	ほうおう（特定含）	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援事業	事業団ヘルパー	やまびこ	へき地保育所	老人福祉センター	合計
定員		80	120	50	35							
事業開始日	H10.1.1	H10.4.1	H11.2.1	H11.2.1	H11.4.12	H11.4.1	H12.4.1	H11.4.2	H11.4.1	H22.4.1	H15.4.1	
事務局長 施設長・管理者	兼１	1	1	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	1	兼１	3
主幹・次長 施設長補佐	兼４	1	2	1	1		兼１					5
事業責任者					兼１	兼１	兼１	兼１				0
医師		嘱１	嘱１							嘱11		嘱13
事務員	1 兼２	1 兼１	3	1	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	6
パート事務員			1						兼１	1		1
生活相談員 社会福祉士		2 兼１	3	兼１	3	2						10
介護支援専門員（計画作成担当）			兼２	1		兼３	6 兼１					7
看護職員		2	6	1	2	1						12
機能訓練指導員		1	1	兼１	1 兼２							3
介護職員		18 兼１	50	7 兼１	7 兼４							82
パート介護員（介護補助）		2	2									4
サービス提供責任者								3				3
ヘルパー								2 兼２				2
登録ヘルパー								1				1
管理栄養士		1	1	1								3

施設名	本部	成章園（特定含）	つくし苑（短期含）	ほうおう（特定含）	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援事業	事業団ヘルパー	やまびこ	へき地保育所	老人福祉センター	合計
定員		80	120	50	35							
事業開始日	H10.1.1	H10.4.1	H11.2.1	H11.2.1	H11.4.12	H11.4.1	H12.4.1	H11.4.2	H11.4.1	H22.4.1	H15.4.1	
調理員		委託	2 委託	委託	委託							2
技能員			2 兼 1						兼 1	1		3
パート技能員・配達員・運転員			3	2	2							7
保育士	1									36		36
保育補助(パート)										常勤 1・31		32
児童支援員									3			3
支援員補助									1			1
合　　計	**2**	**30**	**78**	**14**	**17**	**3**	**6**	**6**	**4**	**71**	**0**	**231**
うち産休・育休・病休	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6
※参考 合計（前年度末）	1	32	76	15	18	3	7	7	6	61	0	226
増減	1	-2	2	-1	-1	0	-1	-1	-2	10	0	5

	H29.3.31		H30.3.31		H31.3.31		R2.3.31		R3.3.31	
正　職　員	139		150		152		158		155	
準　職　員	29		30		27		21		19	
臨時職員（パート再掲）	62	（42）	52	（40）	49	(38)	47	（39）	57	（48）
小　　計	**230**	**（42）**	**232**	**（40）**	**228**	**（38）**	**226**	**（39）**	**231**	**（48）**
嘱託職員（嘱託医再掲）	16	（14）	19	（14）	14	(14)	14	（14）	14	(14)

合　　計	246	（56）	251	（54）	242	(52)	240	（53）	245	(62)

4. 苦情・事故の状況

項目＼事業所名	本部事務局	成章園	つくし苑	ほうおう	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援	事業団ヘルパー	やまびこ	へき地保育所	老福センター	**合計**	前年度実績	前年差
苦情・相談・要望	0	26	8	9	5	0	2	4	0	2	9	**65**	53	12
利用者への対応	0	8	6	6	2	0	0	4	0	1	2	**29**	28	1
家族等への対応	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	**3**	3	0
利用者間トラブル	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	**2**	2	0
制度・設備・環境	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	5	**12**	11	1
その他	0	12	1	1	1	0	0	0	0	1	2	**18**	9	9
（申出人再掲）														
本　人	0	26	4	8	2	0	0	3	0	0	9	**52**	27	25
家　族	0	0	4	0	3	0	2	0	0	2	0	**11**	25	-14
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	**2**	1	1
事故・怪我	0	33	57	12	5	0	0	0	0	161	0	**268**	163	105
骨　折	0	10	5	3	0	0	0	0	0	2	0	**20**	16	4
骨折外の大怪我	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	**1**	4	-3
軽　傷	0	17	39	5	4	0	0	0	0	152	0	**217**	118	99
その他	0	6	13	3	1	0	0	0	0	7	0	**30**	25	5
（原因別再掲）														
転倒・衝突	0	27	8	9	4	0	0	0	0	90	0	**138**	75	63
転落・ずり落ち	0	1	1	0	0	0	0	0	0	15	0	**17**	10	7
誤嚥・異食	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	**4**	4	0
その他	0	4	48	2	1	0	0	0	0	54	0	**109**	74	35
【職員ミス※再掲】	0	3	37	2	2	0	0	0	0	0	0	**44**	40	4
ヒヤリハット	0	42	256	32	8	0	0	3	0	16	0	**357**	367	-10
不適合サービス	0	30	101	20	21	5	15	8	0	0	0	**200**	270	-70
合　計	**0**	**131**	**422**	**73**	**39**	**5**	**17**	**15**	**0**	**177**	**9**	**888**	**853**	**35**
前年度実績	1	121	483	89	43	9	12	14	2	63	16	853		
前年　差	-1	10	-61	-16	-4	-4	5	1	-2	114	-7	35		

（参考）

是正処置数	0	8	30	1	3	0	3	3	0	0	0	8	111	-63

令和２年度　大館市養護老人ホーム成章園　事業報告

令和２年度は、事業運営において新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、当初の事業計画の内容を変更しながら施設運営を行った。

事業収支においては、特定施設の利用者は通年で 30 名を維持しつつも数名の長期入院者による減収が見られた。それでも介護収入は予算額を確保することができた。マスクや使い捨てグローブ等は品薄による値上りが続き衛生関連の支出が増えた反面、施設行事や職員外部研修の中止による経費の減少もあり、結果として全体の収支はプラスとなった。

各地の福祉施設等でのクラスター発生の情報を共有しながら新型コロナウイルス対策に最も重点を置き、施設内へのウイルス持ち込みリスクを抑えるために来館者の入館制限やオンライン面会の実施、職員等の毎日の体温測定・体調チェックを徹底した。

また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、顔認証 AI サーマルカメラや空気浄化機を設置し予防対策として役立て、タイベック型防護服やフェイスシールド等の感染症防護用品の備蓄を行うとともに、県の感染症出前ワークショップを開催し、ガウンテクニックと感染症発生時の対応について医師から直接学ぶ機会をもった。今後は、施設内クラスター発生を想定した訓練を行い、具体的に各役割の動きを確認しいざという時に躊躇することなく対応できるように取り組んでいきたい。

施設行事では、夏まつりと敬老会は外部の方を招かずに利用者と職員のみで小規模な形で実施し、買物やドライブの外出行事はほぼ中止とした。ただ、参加者が多く利用者から根強い人気がある毎月のクラブ活動等は外部講師によりほぼ計画どおり実施した。夏まつり等の規模を縮小し実施した行事は、コロナ禍だからこその視点でこれまでとは違う内容を企画し、利用者の方々に楽しんでもらえたことが次年度に繋がる良い経験となった。

利用者に関しては、自立度に関係なく転倒による骨折事故が続き、居室環境や歩行補助機器の見直し、見守り体制の強化が求められる機会が多く発生した。ナースコール等の増設や居室替え等の再発防止対策をとりながら対応してきたが、同じ利用者の転倒が続いたこともあり、利用者個々の行動把握や見守り体制の面で課題が残った。

利用者の動向は、退所６名、新規入所１１名で年度末には７０名となった。令和２年度から、大館市の入所判定委員会が２回開催され、入所待機者数が増加したことから、７月以降は入所が続き、平成２５年以来７年ぶりに入所者数が７０人台に達した。今後は、運営の自立化を見据えて、引き続き７０人台の利用者数を維持していけるよう市担当課と連携を図っていきたい。

施設設備面では、大館市の予算により、これまで未整備であった居室と介護員休憩室にエアコンが設置され、施設全体で熱中症予防がしっかりと行える環境となった。また、同じく大館市による厨房床改修工事や廊下パネルヒーター交換、配膳車の更新が行われ、設備の改善が図られた。

最後に、令和２年度は３名の利用者が 100 才を迎え、大館市からのお祝いの際に家族とともに祝福することができた。３名とも元気な姿で 100 才を迎えられたことが職員の励みにもなり、コロナ禍の中で皆が笑顔になれた明るい話題であった。

令和３年３月３１日

大館市養護老人ホーム成章園
施設長　花田　繁盛

1. 部門別事業報告

【相談部門】

相談部門では、利用者の金銭引き渡しに関する対応の見直しに取り組んだ。

成章園の入居者の状況として、身元引受人が不在の場合や親族との関係が希薄となっている場合が増加傾向にある。そのような関係性は、身元引受人が本人の金銭対応に不安を感じる傾向が強く、本人亡き後の葬祭にかかる費用等を生前に受け取ることを希望する事例も増えている。申し出に対し不備なく対応することができるよう、また、利用者の財産を保護していくためにも対応を整理した結果、統一した対応が行え、責任が明確化されたことから職員が戸惑いや不安を負うことなく業務にあたることができた。

【支援部門】

職員へのアンケートの結果、課題として多かった「居室の整理」について重点的に取り組んだ。

自立者の転倒が重なったこと、また介助を受ける利用者に必要な物が出しにくいことがこの取り組みの理由である。まず居室内の環境を点検し、仕組みを整え、利用者の生活が安全で衛生的に保たれ、かつ利用者の自立を促すことを目的に、利用者それぞれのＡＤＬ（日常生活動作）合わせたゴールを設定し、チームを組んで取り組んだ。

令和２年度の取り組み実績は４件に留まったが、利用者からは「綺麗になって気持ちがいいな」など感謝の言葉も聞かれており、今後も継続し取り組む。

【看護部門】

看護要約などを管理保管しているファイルの整理に取り組んだ。看護要約の内容については、既往歴など抜け落ちている情報もあり、今後も定期的な確認が必要である。ファイルの中身の整理については、新たに二つ折りのファイルを用意して予約票とその他に仕分け、また古い検査結果などを別に保管した事で以前より見やすくなり、前日の受診準備の時間短縮につながった。診察券はファイルの予約票と同じポケットに保管しているが取り出しにくいとの指摘があり、ファイルを逆折りにして使用することにし、またファイルのポケット部分に切り込みを入れて診察券を差し込んだ物も試している。

今後は、毎年９月に個々のケース記録を確認して看護要約の内容を点検することとし、併せてファイル内の整理も進めていくこととする。

【栄養部門】

栄養部門では、令和３年度からの調理業務の直営化に伴いスムーズに移行できるように準備をすすめた。

業務に必要となる「衛生管理の手引書」「衛生管理チェックシート」等の様式を作成したほか、厨房で使用している手袋・ポリ袋・ラップ各種・クッキンシート等の消耗品や洗剤類の見積りを徴集し業者を選定した。食材の納入業者については、近隣施設から選定基準・発注方法・納品状況などの情報を収集し選定の参考にした。

令和３年４月の直営化移行にあわせ３月から発注業務等を行ってきたが、委託時の手順とは違うところもあり、手数を要している状況となっている。直営化になった後も、利用者の食生活に支障を与えることのないように、適宜改善活動に取り組み早期に業務の平常化を図る。

【事務部門】

事務部門では、予定されている自立化後も支障なく事業運営を継続できるようにするため、建物所有者である大館市に対し、不具合が生じている各種設備機器の修繕及び更新について計画的に行うこととし、令和 2 年度は、以下の修繕・更新をお願いし、その結果は下記のとおりである。

① 厨房内床改修工事
② 成章園居室エアコン未設置箇所への冷房エアコン取付工事（26 部屋）
③ 成章園居室暖房不具合箇所への冷暖房エアコン取付工事（10 部屋）
④ 施設内パネルヒーター不具合箇所のパネルヒーター更新工事（4 箇所）
⑤ 厨房配膳車新規購入（1 台）

この他に、年度内に不具合が生じた各種設備機器の状況を市担当課に適宜報告を行い、相談しながら、業務に支障を及ぼさないように取り組んだ。

2. 利用者状況報告

集計期間　令和２年４月１日～令和３年３月 31 日
集計日　　令和３年３月 31 日

（１） 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢／性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	1	2	2	5	3	1	0	0	14
女	0	1	2	6	12	16	9	7	3	56
計	0	2	4	8	17	19	10	7	3	70

平均男（81.2）　女（86.9）　全体（85.7）　最高（100）　最低（68）

（２）　在所期間の状況（単位：人）

期間／性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上	計
男	5	3	2	2	2	0	0	0	14
女	6	12	17	13	5	1	2	0	56
計	11	15	19	15	7	1	2	0	70
平均　男（3 年 11 月）、女（5 年 1 月）、全体（4 年 11 月） 最高　男（13 年 11 月）、女（20 年 8 月）									

（３）　入退所の状況（単位：人）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者	男	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	5
	女	1	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	6
退所者	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	5
（死亡者）		0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

（４）　介護度別の状況（単位：人）

区　分	未認定	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	支援 1	支援 2	事業対象	計
男	5	2	1	3	0	0	0	1	2	14
女	24	7	6	7	7	1	0	0	4	56
計	29	9	7	10	7	1	0	1	6	70

（５）　短期宿泊事業　利用状況（単位：日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	0	0	0	0	0	0	24	25	0	12	1	0	62
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	13	1	29
計	0	0	0	0	0	0	24	25	0	27	14	1	91

（６）　在所延べ人数（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
成章園	1,058	1,085	1,050	1,077	1,025	1,023	1,075	1,065	1,218	1,182	1,106	1,234	13,198
特　定	870	906	900	923	933	885	853	814	864	924	826	928	10,626
計	1,928	1,991	1,950	2,000	1,958	1,908	1,928	1,879	2,082	2,106	1,932	2,162	23,824

3. 事業実績管理関係

月日	管理関係	月日	行事関係
4.1 4.11 4.24 4.28 4.30	辞令交付式・年度始め式(法人) あじさい通りトイレタンク修理 浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲取り リノリウム床清掃	4.6 4.7.14.21.28 4.9 4.24～30 4.27 4.28	体重測定 喫茶 福寿会 お花見散歩 歯科衛生士訪問 定例会
5.22 5.25 5.26 5.27 5.28 5.29	浄化槽合併処理施設保守点検 電気設備点検 グリストラップ汲取り アリ防駆除作業 浄化槽機械室照明器具交換 リノリウム床清掃 衛生害虫防除作業	5.4 5.12.26 5.14 5.18 5.26 5.28	体重測定 喫茶 結核検診 歯科衛生士訪問 定例会 バイキング
6.1～11 6.9 6.22 6.22～27 6.25 6.25 6.30	エアコン設置工事 地下油槽保守点検 受水槽清掃作業 特別清掃（ガラス・網戸清掃） 浄化槽合併処理施設保守点検 リノリウム床清掃 グリストラップ汲取り	6.1 6.2.9.16.23.30 6.8 6.11 6.22 6.25 6.30 6.30	体重測定 喫茶 利用者 100 歳のお祝い 福寿会 歯科衛生士訪問 昼食バイキング 定例会 栄養教室
7.6 7.7 7.10 7.13 7.13 7.14～17 7.28 7.29 7.30	ボイラー室・貯湯槽清掃作業 浄化槽法定検査 入所検討会 電気設備点検 受電設備更新作業 居室エアコン工事 グリストラップ汲取り 浄化槽合併処理施設保守点検 リノリウム床清掃	7.6 7.7.14.21.28 7.20 7.27 7.28 7.28 7.30	体重測定 喫茶 避難訓練 歯科衛生士訪問 定例会 健康教室 にぎやか音楽会
8.18 8.18 8.27 8.29	エアコン更新工事（32・52 号室） 浄化槽合併処理施設保守点検 リノリウム床清掃 消防設備保守点検	8.3 8.6 8.11.18 8.19 8.21 8.24 8.25 8.25	体重測定 元気もり盛祭り 喫茶 福寿会 二十日盆の法要 歯科衛生士訪問 利用者 100 歳のお祝い 定例会

月日	管理関係	月日	行事関係
		8.27 8.31	お楽しみ昼食会 桜田衣料販売会
9.4 9.10 9.18 9.24 9.25 9.29	浄化槽清掃合併処理 廊下仕切りドア工事（感染対策） 浄化槽合併処理施設保守点検 リノリウム床清掃 電気設備点検 グリストラップ汲取り	9.7 9.10 9.14 9.15.29 9.24 9.27 9.28 9.29	体重測定 敬老会 歯科衛生士訪問 喫茶 念仏数珠廻し ミュージックケア 利用者健康診断 定例会
10.12～25 10.16 10.21 10.27	厨房床工事 浄化槽合併処理施設保守点検 流し台配管洗浄 グリストラップ汲取り	10.5 10.6.27 10.8 10.8 10.17 10.19 10.2.28.29 10.27	体重測定 喫茶 秋のバイキング 福寿会 成章中学校吹奏楽部慰問 歯科衛生士訪問 秋のドライブ 定例会
11.16.23.30 11.19 11.24 11.24 11.27	居住棟パネルヒーター更新工事 電気設備点検 グリストラップ汲取り 浄化槽合併処理施設保守点検 施設内衛生害虫防除	11.2 11.10.24 11.5 11.10 11.19 11.26 11.26 11.26 11.29	体重測定 喫茶 避難訓練 インフルエンザ予防接種 だまっこ昼食会 歯科衛生士訪問 栄養相談会 定例会 ミュージックケア
12.2 12.4 12.4 12.7 12.14 12.15.16 12.22～29 12.23 12.28	床ワックスクリーニング リノリウム床清掃 苦情第三者報告委員会 消防自主検査 ボイラー煤煙濃度測定検査 空調機器清掃 特別清掃 浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲取り	12.3 12.7 12.8.15.22 12.10 12.21 12.24 12.28	にぎやか音楽会 体重測定 喫茶 福寿会 歯科衛生士訪問 クリスマスバイキング 定例会
1.14 1.22 1.26	電気設備点検 浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲取り	1.4 1.5.12.19 1.14.27	体重測定 喫茶 歯科衛生士訪問

月日	管理関係	月日	行事関係
1.28	リノリウム床清掃	1.25 1.26	新年会 定例会
2.19 2.24 2.25 2.27	浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲取り リノリウム床清掃 消防設備保守点検	2.1 2.2 2.5 2.9.16 2.12 2.21 2.25 2.25	体重測定 節分豆まき 利用者 100 歳のお祝い 喫茶 福寿会 ミュージックケア 健康相談会 定例会
3.4 3.16 3.19 3.24 3.27 3.30	電気設備点検 厨房給排風機清掃 浄化槽合併処理施設保守点検 浄化槽清掃 ラジオ再送信装置定期保守点検 グリストラップ汲取り	3.8 3.9.16.23.30 3.15 3.22 3.30 3.31	体重測定 喫茶 歯科衛生士訪問 念仏数珠廻し 定例会 秋田県知事不在者投票

4. 研修実施状況

(1) 内部研修

月日	研修内容	対　象	担当職員
5.29～ 6.20	感染症対策研修（WEB セミナー個別）	全職員	感染症対策委員会
8 月	身体拘束等適正研修①（個別研修）	全職員	身体拘束適正化委員会
11.7	感染症対策研修（新型コロナイルス）	全職員	感染症対策委員会
1.15	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程：監督職研修	武廣眞貴子、山内和市 町井美輝子、石田夕子	本部事務局主幹
12.5	感染症対策研修	全職員	感染症委員会
2.15～28	救命救急研修（個別研修）	介護員	主任看護師
3.12.17	身体拘束等適正研修②	全職員	身体拘束適正化委員会

(2) 外部研修

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
1	4.19	口腔健康管理セミナー10	大館市	介護員　小松安優美　柏谷梨苑
2	7.13	口腔アセスメントツール（OHAT）導入について	秋田労災病院	管理栄養士　石田夕子 介護員　小松安優美　柏谷梨苑

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
3	8.1	福祉施設従事者向け 新型コロナウイルス感染症対策説明会	北秋田市	看護師　武廣眞貴子
4	9.1	WEB 調理セミナー	オンライン	管理栄養士　石田夕子
5	9.14	令和 2 年度 OJT リーダー研修	秋田市	介護員　片山貴博
6	11.12	モチベーションアップセミナー	大館市	介護員　一関由佳　柏谷梨苑
7	10.21	障害者雇用促進に関するセミナー	大館市	生活相談員　畠山美香
8	11.11	北海道･東北ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー	オンライン	施設長　花田繁盛
9	11.12	管理職の若手育成スキルアップセミナー	大館市	生活相談員　畠山美香
10	11.17	福祉保健施設･事業者等看護職員研修	秋田市	看護師　佐藤大和
11	12.7.8	令和 2 年度　課題別研修 I	秋田市	生活相談員　川嶋慎一
12	1.13	業務改善セミナー	オンライン	施設長　花田繁盛
13	12.16	令和 2 年度　養護・軽費老人ホーム・ケアハウス研修会	オンライン	介護員　畠山則子 生活相談員　畠山美香
14	2.24	北海道･東北ブロック社会福祉法人経営研修会	オンライン	施設長　花田繁盛

令和２年度　大館市特別養護老人ホームつくし苑　事業報告

令和２年度は、新型コロナウイルスの脅威に不安を感じながら運営した１年であった。感染防止対策については手探りの状況であったが面会制限の内容や、職員個々の感染防止対策の励行、入館者への健康観察などを行い、近隣の感染状況を確認しながらの対応となった。入館制限を敷いた状態で令和２年度事業がスタートを切った。どこまで続くか分からない面会制限の中、利用者や家族の権利を守ることも考え、オンラインでの面会方法を確立させることができた。オンライン面会は、家族に幅広く利用されるまでは至らなかったが、利用している家族からは、制限のある中での対応としては満足の声が聞かれた。

介護職員の夜勤時間変更については、令和２年１月から三交替制導入したことから、現場の体制が軌道にのるよう、情報収集と現場との話し合いを重ねてきた。当初は自分の生活と出退勤時間との調整に苦慮する者もいたが、導入から一年余りを経て軌道に乗せることができた。この三交替制により、これまでの長時間の拘束時間となる夜勤による職員の負担軽減につながった。

また、深夜勤務の職員を６名から５名に変更し、日勤帯に職員が手厚く配置できるよう調整した。喀痰吸引や経管栄養、看取りケアへの取り組みなど、医療的ケアに係る利用者への対応も、多職種での連携し利用者の不利益が生じないよう対応に努めた。

安定的な収入確保のため、令和元年度に対策を講じたベッドコントロールの手順に則り、入所者数の適正管理に努めた。入院者の総数が減ったことも影響しているが、令和元年度と比較してベッド稼働率を上昇させることができた。また、令和３年度からは厨房業務の直営化に向けて、厨房職員の確保や業務内容の確認を行いながら厨房業務の整備を進めた。厨房業務の直営化も、経営の安定化を目指したもので、業務の確認や職員の定着を目指して行きたい。感染防止の取り組みを始めとする様々な事業運営は、安心で安定した施設運営となるべく、職員が同じ方向性を見据えて取り組むことを誓い事業報告とする。

令和３年３月 31 日

大館市特別養護老人ホームつくし苑
施設長　鎌田　俊

1.　部門別報告

【相談部門】

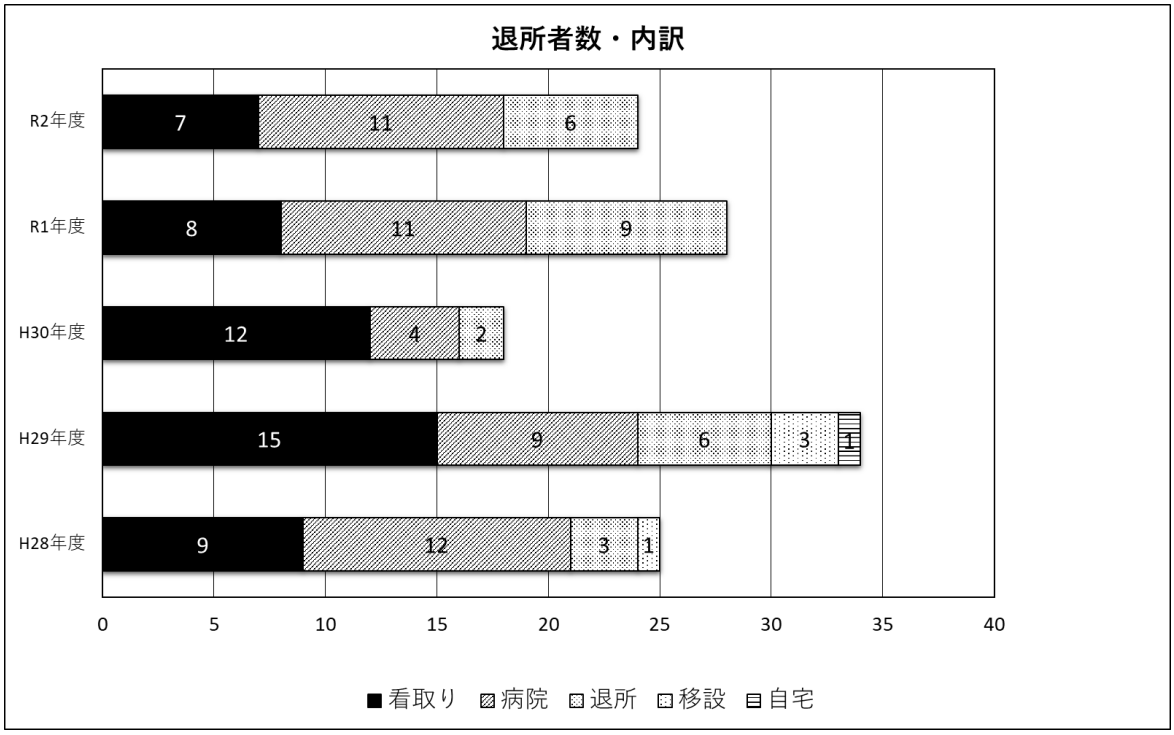
相談部門では、施設の取り組みに関する実践報告会の開催による身元引受人との交流や、各行事やボランティア活動を通しての地域住民との交流を計画としていたが、新型コロナウイルスの影響により、計画した活動内容を行うことができなかった。新型コロナウイルスの脅威により、家族と利用者との繋がりを遮断しかねない状況であったが、４月の段階でオンラインによる面会方法を確立することができた。家族が施設に来てオンライン（iPad）での面会が 314 件、家族が自宅等から

LINE を使用してのオンライン面会が 61 件あり、使用された家族からは感謝の言葉が聞かれた。

令和 2 年度の退所者数は 24 名であった。医療機関での死亡退所者が 11 名、医療機関からの退院不可での退所者が 6 名と全体の 70.8%を占めた。施設での看取り介護を受け施設で看取った利用者は 7 名と全体の 29.2%であり、ここ数年と比べ少なかった。多くの疾患を抱えている利用者が多いため、入所後も嘱託医への移行ができず、これまでの医療機関に継続して通院を要す利用者が増えており、通院する中で容態に変化が訪れ、入院を経て、死亡退所や退院不可での退所となるケースが目立った。

ベッドコントロールについては、入院や退所による空床数は令和 2 年度 1,052 床（令和元年度 1,309 床）で 257 床の減少となり、このうち入院による空床は、令和 2 年度 756 床（令和元年度 996 床）で 240 床の減少という結果になった。

またショートステイによる空床利用は、令和元年度 512 床（活用率 39%）に対し、令和 2 年度は 390 床（活用率 37%）とという結果となった。短期入所を含む施設全体のベッド稼働率平均は、令和元年度の 98.19%から令和 2 年度は 98.55%となり、稼働率を維持することができた。次期入所者の準備を早い段階から行うことや、入院者の入院期間の確認を小まめに行うことにより、空床利用を効果的に行いたい。



【介護部門】

「職員の介護に関する知識・技術の習熟度を上げる」という目標を掲げ取り組んだ。具体的には、栄養委員会・医療的ケア対策推進委員会・認知症ケア推進委員会の研修により、食事介助やポジショニング、事例検討による疑似体験のある研修を開催し、参加職員から利用者の立場や心情を理解することにつながったという感想が聞かれた。

「家族のニーズに応じた衣類の対応や、私物の管理」という目標に関する活動については、令和元年度に比べると、衣類に関わる苦情は少なくなったものの、新型コロナウイルス感染防止対策による入館制限が要因となっていると考えられる。ただ、通院など外出時の着衣には十分に気を配るよう努めた。サンルームや食堂付近などの、共有スペースで利用者の私物や、購入品が置かれている状況となってしまっていたため、保管場所を定めなおし、整理整頓に努めた。

「利用者や職員がやりがいを感じる事ができる企画」という目標に関する活動については、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、利用者自身の外出を自粛せざるを得ない状況であったが、看取りケアの対象となった利用者を自宅へ連れて帰る企画を2件実施することができた。家族からも「よかった」との声が聞かれ、対応した職員もやりがいを感じることにつながった。この取り組みから、家族のニーズや本人の生活歴を把握し、日頃のケアに取り組む必要性も再認識した。

【看護部門】

令和2年度は、看護職員が一名減となり新体制に伴う業務内容の見直しを行った。また医務内で分担し、業務マニュアルを再確認し変更点の修正などを行った。介護・相談部門とはスムーズな業務を行うため会議の場や口頭で協議した。今後も嘱託医変更に伴う業務の見直しを行いたい。

嘱託医や他職種と連携し、利用者に応じた医療提供につなげるため、日々のナースカンファレンスでは主に体調不良者の状態確認を行った。将来的な治療方針や看取りの方向性等を記録に残すことで、他職種と情報共有が行いやすくなった。その上で医師へ相談や指示受け、生活相談員を通じての家族の意向確認と言う流れで、通院の際も治療や検査をスムーズに受けることにつながった。

看取りケアにおいては、ナースカンファレンスにおいて看取りケアの振り返りを行った。意見(提案)を次のケース活かすことにより、自部門だけでなく施設全体のケアの質を向上させると考えている。

また看護部門としては、施設の感染防止対策において主体的に取り組む必要がある。今後も委員会や他部門と連携して感染防止対策の徹底を図る。

【機能訓練部門】

「余暇活動未実施者の実施率を高める」という目標を掲げ取り組んだ。

まずは実施率を50%以上と設定し取り組んだ。令和2年4月は、利用者47名に対し実施者は14名で実施率は27%であった。

そこで、機能訓練指導員がレクリエーションや余暇活動に関われる曜日や時間を棟ごとに確認した結果、グループレクリエーション以外に、利用者個別への対応でも実施することとした。コロナ渦により、外部ボランティアやクラブ活動が休止になった影響もみられたが、年度後期からは当初の目標である50%以上の実施率を確保できた。目標をクリアできた要因は、個々利用者のサービス提供状況をしっかり把握することによりアプローチ可能な曜日・時間帯を把握すること、また介護部門との連携を図りレクリエーションを進めていくこと、の二点である。

月	対象利用者数	実施者	未実施者	実施率
4	47 名	14 名	33 名	27%
5	47 名	14 名	33 名	27%
6	47 名	17 名	30 名	36%
7	49 名	16 名	23 名	33%
8	49 名	21 名	28 名	43%
9	49 名	30 名	19 名	61%
10	48 名	19 名	30 名	40%
11	47 名	19 名	27 名	40%
12	47 名	25 名	21 名	53%
1	46 名	25 名	21 名	54%
2	47 名	27 名	20 名	57%
3	48 名	28 名	20 名	58%

【栄養部門】

(1) 軟菜食の導入を目指す

軟菜食について管理栄養士調整会議内で検討し、苑内でも少人数から初めていく段取りとなっていたが、厨房の調理業務体制が委託から直営に変更する為の検討・調整に時間がかかったことや厨房職員の入れ替えもあり、令和２年度中の軟菜食の導入はできなかった。令和３年度中には、年度途中からでも厨房職員の業務の進み具合を見て軟菜食の導入を図ることとする。

(2) 多職種との連携のよる経口摂取維持の取り組み

経口での食事摂取は本人の嚥下機能や食事形態の問題だけではなく、呼吸状態や食事の姿勢、介助方法などあらゆる角度からみていく必要がある。経口維持加算の取り組みでは経口摂取困難となるリスクのある利用者を絞り込み、多職種で検討、観察することができた。看取りケアの利用者に対しても、安全に経口摂取できるように食事環境を整え、また食事提供量の変更や栄養補助食品の提供など利用者に合わせた食事を提供した。

また、栄養委員会主催での職員向け研修会を実施し、嚥下機能や食事姿勢、介助での注意点などを発信できた。

【事務部門】

令和２年度も、四半期ごとの収支の状況を、運営委員会を通して全職員に伝えることで収支を意識した業務活動になるように働きかけた。

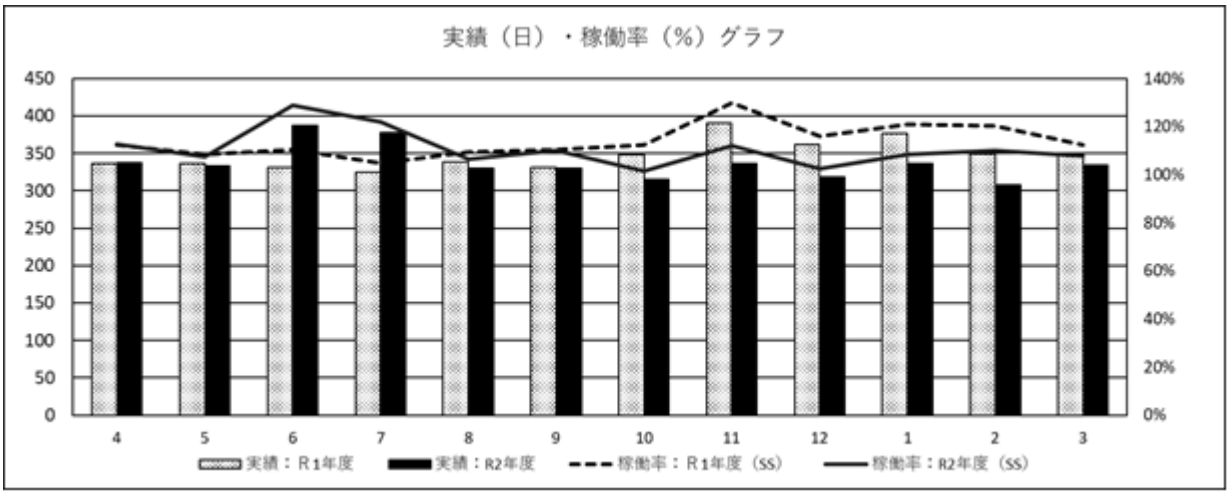
ベッド稼働率に対して繰り返し説明してきたことで、空床を利用する意識を強く持ってもらうことが出来た。令和元年度・令和２年度と続けてベッド稼働率は上昇している。また、収支の状況を対前年比だけで分析するのではなく、全国平均（全国老施協調査結果）との比較も行なった。つくし苑の支出傾向を分析することができた。今後は、分析結果から支出項目を絞り込み、経費節減に向けた対策を提案したい。

【短期入所生活介護事業所】

令和２年度の利用実績は、年間延べ 4,043 日であり、令和元年度に比べて 207 日増加となった。利用実人員は年間で 49 人となり、年間では延べ 322 人が利用した。一人当たりの平均利用日数は 12.5 日で前年度比-1.5 日と減少した。

地区別利用者数では、令和元年度と同様に十二所地区の利用が全体の７割以上となった。要介護度区分別では、要介護 1～3 が全体の 64%となっている。新規利用は 13 名と令和元年度の７名に比べて増えている。

新型コロナウイルスの流行により、利用前の確認事項が増え、また緊急受け入れ加算の算定など利用者・家族の負担も増えたが、どの利用者・家族にも協力してもらいながらスムーズに受入することができた。



2. 委員会活動

【運営委員会】

運営委員会では、主にリスクマネジメント、サービスの質の管理、そしてコスト管理に取り組んだ。新型コロナウイルスの対応を確認する場面が多かったが、法人の感染症予防対策委員会の検討結果に基づき、施設内の対応を周知した。また、面会制限や面会方法についての検討も行い、予防策を徹底した。

三交替勤務が開始となって、４月の時点で３ヶ月の経過であった為、引き続き課題の抽出や必要に応じ修正に向けた意見交換を行った。三交替勤務が開始となり１年以上が経過し、大きな問題なく経過している。

不適合報告書など、事故や苦情などの検証も随時行った。全体の事故件数は年々減少しており、現場職員の認識が向上してていると捉えている。

【感染症予防対策委員会】

令和２年度は新型コロナウイルス感染防止対策を中心に検討した。感染発症時に備えシミュレーションを具体的に検討し予定を組んでいる。また、職員が感染予防に係る基本知識を習得し、予防着着脱の研修を行った。

幸い、施設内感染の発生に至っていないが法人感染委員会と連携し、万一の発症時には迅速かつ的確な対応を可能とする。

【身体拘束等適正化委員会】

令和２年度は、全職員を対象とした身体的拘束適正化並びに高齢者虐待防止に関する研修として、日頃の業務を振り返る機会を設け、その中で必要と思われることを抽出し、根拠や理由を考えてもらい自分たちで取り組むべき目標を設定するという内容で研修を行った。この活動を通して、利用者の権利擁護に関しては、初心に帰り、基本的な部分を確認しトレーニングを行っていくことが大切であること再認識した。

【部門間連携委員会】

令和２年度は委員会の活動を行うことがなかった。今まで本委員会で検討していた内容は運営委員会の場で検討することができたため、本委員会の役割は終えたと判断し、令和３年度は廃止とすることとした。

【医療的ケア対策推進委員会】

まず、介護職員の痰吸引に係る安全確実な手技の取得と、その根拠となる知識の確認を目的として、本委員会主催の内部研修を年１回実施し、ブランクのある介護職員へのフォローアップを行い、介護職員が一定の手技の水準を保持できるように努めた。

また、不適合報告内容を共有し、その対応経過について検証し、再発防止を図った結果、利用者の健康状態に影響する不適合事例の発生はなかった。

介護職員の喀痰吸引等研修事業の実地研修は、介護職員１名を対象に実施し現在も継続中である。

褥瘡予防については、褥瘡発生状況の把握と、褥瘡の発生リスクのアセスメントを行い、各委員でその結果を共有した。また、褥瘡創部の状態や使用薬剤、処置方法等を委員会内で随時確認を行い、褥瘡治癒までの手順に沿って対応した。

【介護技術向上委員会】

本委員会では、①根拠に基づく介護技術の習得と技術の現場展開、②事故、怪我防止として高リスク者のケア内容の見直しの２点を目標に掲げて活動をしてきた。介護技術に関しては現場からの意見を拾い上げ、移乗介助が困難な利用者に対する安全な移乗介助と、日々変化していく利用者の状態を専門職に見極めてもらい、移乗方法の再検討と統一したケアの周知徹底に努めた。

【栄養委員会】

利用者が最期まで口から食べられる楽しみが得られるよう、「経口維持管理加算（Ⅰ）」を継続し、嘱託医や歯科衛生士など多職種の連携により、より専門的な視点から利用者の経口摂取を維持できるよう活動した。

口腔衛生については、歯科衛生士による口腔衛生指導を毎月行い、指導内容を現場の職員に周知することにより適切な口腔ケアが行え、結果として利用者の口腔内を大きなトラブルなく健康な状態で保つことができた。今後も、口腔内の健康を維持できるよう継続していきたい。

予定していた職員研修を、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら実施することができた。実際に不自由な形で食事をすることで生じる嚥下作用、悪い姿勢での食事摂取を体験することにより、どのようにケアするべきかを知ることにつながった。

【排泄ケア向上委員会】

令和元年度に引き続き、排泄のマネジメントプロセス（アセスメント、多職種協働による支援計画の立案、ケアの実施、評価）の構築を目標として「排泄アセスメントシート」の作成に取り組んだ。各方面からの助言を取り入れながら修正を繰り返し、年度中の運用を目標として取り組んだが、現在も修正中で運用には至っていない。

【認知症ケア推進委員会】

認知症介護実践リーダー研修に 1 名参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて研修が中止となった。個別計画サービスでは、委員が中心となってモデル利用者を選定し、個別計画立案を経て、委員以外の職員にも内容を周知しながら取り組んだ。個別計画の取り組みが職員に浸透し、ケアの質の向上につながった。

認知症ケアに重要なポイントを、つくし苑全体の目標として設定しポスター等で職員に提示した。期間を定めて目標に対する職員アンケートを実施した。

また、認知症ケアに係る内容 30 項目について自己評価表を作成し、前期（4～9 月)、後期（10 月～3 月）に分けてそれぞれ評価した。自己評価してもらうことで職員の自己覚知を促すことができた。結果の細かい集計は年度内にできなかったが、次年度の活動へ繋げていく。

2 月には職員内部研修を実施した。利用者の認知症状や生活状況を元に、グループワークを行い、認知症利用者にとって良い対応とは何か、またその根拠についても検討し、認知症に対する理解を深めた。

【災害対策委員会】

本委員会では緊急連絡網の見直しについて継続して取り組んだが、現在の緊急連絡網に取って代わる手段を確立させることが出来なかった。その後は、緊急時の使用物品のチェック、保管場所の再確認、防火扉の箇所をチェックし、現場職員への周知も行った。

年 2 回の避難訓練では、参加職員には避難方法を体験してえるが、災害時の対応として、現場への周知には課題が残っている。訓練以外での現場への情報提供や、災害時対応の知識習得の方法などを考えていきたい。

3. つくし苑　利用者状況報告

集計日　　令和３年３月31日現在

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢／性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	0	4	4	5	4	5	5	1	28
女	0	0	5	4	9	24	21	15	3	81
計	0	0	9	8	14	28	26	20	4	109
平均男（85.6）女（88.7）　全体（87.9）　最高（102）　最低（70）										

(2) 在苑期間の状況（単位：人）

期間／性別	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上	計
男	8	6	3	3	2	4	1	1	28
女	16	16	8	10	8	6	4	13	81
計	24	22	11	13	10	10	5	14	109
平均：男（2年9月）女（3年11月）　最高：男（9年9月）女（21年11月）全体（3年8月）									

(3) 入退所の状況（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	1	2	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	9
	女	1	3	0	4	0	1	2	1	1	0	3	0	16
退所者	男	1	2	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	7
	女	0	3	2	3	0	2	2	1	0	3	0	1	17
月末在所者数	男	27	27	27	26	27	28	28	28	28	27	28	28	
	女	83	83	81	82	82	82	81	81	82	79	82	81	
	計	110	110	108	108	109	110	109	109	110	106	110	109	

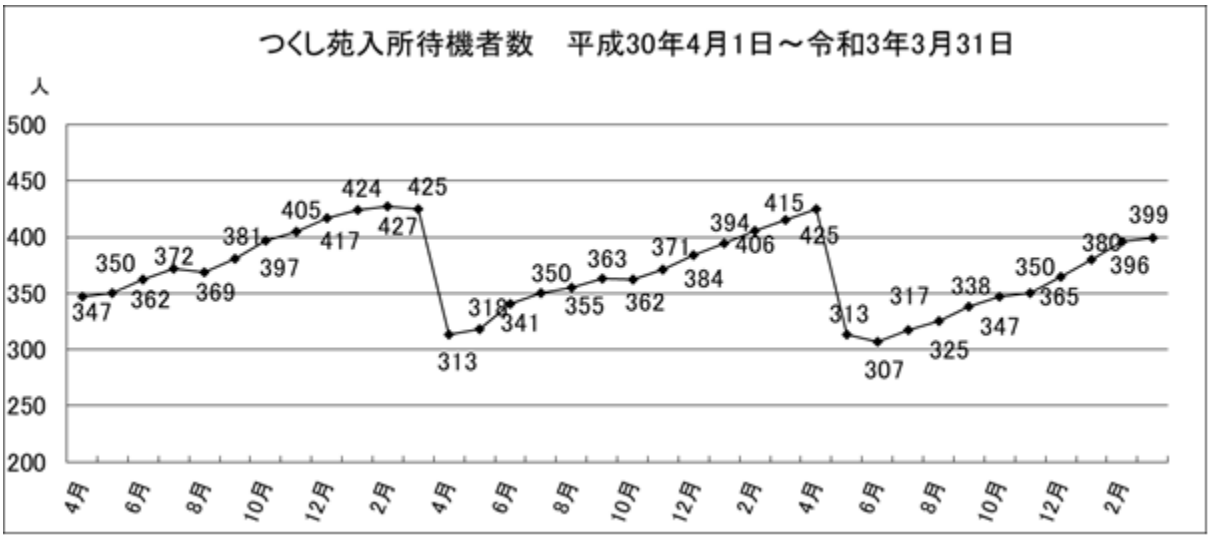
(4) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド数	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,080	3,410	40,150
利用数	3,207	3,263	3,188	3,229	3,328	3,214	3,354	3,225	3,381	3,319	3,036	3,332	39,076
稼動率	97.2	95.7	96.6	94.7	97.6	97.4	98.4	97.7	99.1	97.3	98.6	97.7	97.3

(5) 介護度別の状況（単位：人）

要介護度	介１	介２	介３	介４	介５	計	平均
令和２年３月末	2	3	15	48	42	110	4.14
令和３年３月末	1	3	17	46	42	109	4.15
増　　減	－1	0	2	－2	0		

(6) 入所待機者数



4.　事業実施関係

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
4	1 7 21	年度始め式、辞令交付式 十二所地区民事協議会 にこにこクラブ開講式 クリーンアップ	13	賀寿祝（1名）	17	看護福祉大看護学科オリエンテーション
5	15 20 21 27 31	監事監査会 自動ドア保守点検 スプリンクラー保守点検 定時理事会（書面決議） ガラス清掃	17 21	賀寿祝（1名） 賀寿祝（1名）		
6	2.3 5 15	ガラス清掃 評議員選任解任委員会 高齢者介護と予防の一体的実施業務の打ち合わせ会議	14 25	賀寿祝（1名） 野外昼食会（肉博・魚博・きりたんぽ）	22 22～7/2 24	スーパービジョン①研修（施設長補佐４名） 看護福祉大看護実習（3人） ステップ１研修

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
	17	比内支援学校来苑（障がい者就業支援センター職員２名）			26	内部監査員研修
					29	スーパービジョン研修（人財育成委員）
	17	面接試験（厨房職員）			30	ステップ３研修
	18	面接試験（厨房職員）				
	19	評議員会				
	24	スプリンクラーヘッド修繕工事				
	30	ピット内点検				
		職員採用選考委員会				
7	1.2	職員健康診断	2	利用者検診	1	内部研修（栄養委員会主催）
	3	介護のお仕事 PR 隊	9	賀寿祝（1 名）		
	8	食器洗浄機更新			10	スーパービジョン②研修（施設長補佐）
	9	室外機点検				
		床ワックス（じゅかい南側）			17	スーパービジョン②研修（人財育成委員）
	10	床ワックス（ふるーつ北側）			20～30	看護福祉大看護実習
		ボイラー点検			27	桂桜高等学校介護実習
	13	床ワックス（ふるさと北側）			31	スーパービジョン③研修（施設長補佐）
	14	床ワックス（ふるさと南側）				
		暖房エアコン清掃				
	15	床ワックス（じゅかい北側）				
	28	求人求職情報交換会（国際情報学院高校）				
	30	消防避難訓練				
8	5	看護福祉大看護実習担当者連絡会議	16	賀寿祝（1 名）	3.4	桂桜高等学校実習（2 名）
			25	100 歳の祝い（大館市）1 名	7	スーパービジョン③研修（人財育成委員）
	6	厨房冷蔵庫入れ替え			17～19	感染予防研修
	19	介護保険事業計画運営委員会			21	スーパービジョン④研修（施設長補佐）
	20	自動ドア保守点検			24	スーパービジョン④研修（人財育成委員）
	26	市社会福祉法人連絡会			25.26.28	排泄用品説明会

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
9	2～4 4 5 10 15 16.17. 18 17 18 24 28	ガラス清掃 人事ヒヤリング 介護のお仕事 PR 隊 特定給食施設等指導 （大館保健所） 指名競争入札（清掃業務・塵芥収集業務） 定期空調点検清掃作業 包括ネットワーク協力員会議 成章小学校寄贈式 消防設備点検 介護のお仕事 PR 隊	6 11 20 28	賀寿祝（1 名） 利用者結核健診 賀寿祝（3 名） つくし苑敬老会	2～24 11 30	看護福祉大看護実習 防犯対策研修 ステップ 3 研修
１０	1 5 8 12 14 16 17 22 23 25 27	辞令交付式 高卒採用試験申し込み受付開始 カーテンクリーニング 屋上防水工事完成検査 水防法改正説明（市担当者来苑） 県実地指導 職員採用試験 受水槽清掃 簡易専用水道検査 安全運転管理者講習 採用試験選考委員会 十二所地区駅伝大会 膨張タンク交換修理	25	賀寿祝（１名）	12 13～ 1/22 14 16 19 21 23	内部研修（身体拘束①） 喀痰吸引研修 6 名 内部研修（身体拘束②） 内部研修（身体拘束③） ステップ 2 研修 看護福祉大看護実習 障がい者雇用促進セミナー 監督職研修
１１	5 6 10.17 18 26	自動抑制機器等工事完了検査 危険物保安講習 インフルエンザ予防接種 自動ドア保守点検 大館市介護保険事業計画運営委員会 内部監査（つくし苑）	10	インフルエンザ予防接種	6 9 12 13 16 25	ステップ 4 研修① コロナ対策出前セミナー（2 名） ステップ 4 研修② 職場定着セミナー ステップ 4 研修③ ステップ 4 研修④ 労災病院他機関合同研修

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
１２	4 5 7 20 21 22 23 24 28	苦情解決第三者委員報告会 職員採用試験 登用試験（保育士） 床ワックス（管理棟） 床ワックス（ふるさと北側） 床ワックス（ふるさと南側） 床ワックス（ふるーつ北側） 床ワックス（ふるーつ南側） 仕事納め式	7 21 25	賀寿祝（1名） 賀寿祝（1名） クリスマス会	14	スーパービジョン研修（監督職）
1	4 8 25 28 29	仕事始め式 インターンシップ（厨房） 職員健診（夜勤者対応） 十二所地域支え合い推進会議 大館市社会福祉法人連絡会	18 27 31	個別外出（自宅） 新年会 賀寿祝（1名）		
2	3 10 18 22	企業説明会（高校生向け） 介護保険事業計画運営委員会 生涯現役合同企業面談会 消防立ち入り検査・通報機器確認（比内分署） 自動ドア保守点検	3	節分（豆まき）	16 17～3/19 19 22.24.26	ソーシャルワーク実習（1名） 看護福祉大介護実習2段階（1名） ソーシャルワーク実習（1名） 内部研修（認知症研修）

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
3	1	床ワックス（じゅかい北側） 職員説明会（給与規則改正） 2 床ワックス（じゅかい南側） 3 床ワックス（ふるさと北側） Wi-Fi 設定工事 4 床ワックス（じゅかい南側） 看護実習指導担当者連絡会議 5 床ワックス（ふるーつ北側） 職員説明会（給与規則改正） 8 人事異動内示（一次） 9 地下タンク点検 11 消防設備点検 12 浴室・厨房空調点検 14 新採用職員顔合わせ 19 定時理事会 21 床ワックス（ふるーつ南側） 22 人事異動内示（二次） 30 評議員会 31 退職者辞令交付式	7 15 18	ひな祭り会 賀寿祝（1 名） だまっこづくり	12	秋田県老人福祉施設長研修会（ZOOM によるオンライン）

5. 研修実施状況

(1) 内部研修　※法人合同研修含む

番号	実施日	時　間	対象	内　　容	参加数
1	R2.4/1～ R3.3/31	計 2.685 分	新採用職員	＜主な内容＞ ①オリエンテーション 1 （労務関係の説明） ②オリエンテーション 2 （各施設見学） ③法人理念と品質マネジメント概論 ④社会人マナー	2

番号	実施日	時　間	対象	内　　容	参加数
				⑤オリエンテーション３ （配属先勤務体制、業務内容） ⑥オリエンテーション４ （福祉機器の理解と使用方法） ⑦感染症の知識と予防 ⑧個人情報とプライバシー保護 ⑨介護の基本（概論・接遇） ⑩介護技術の基本（移乗・移動） ⑪介護技術の基本（入浴・更衣） ⑬介護技術の基本（排泄） ⑭オリエンテーション５ OA 機器、電話機、ナースコール ⑮先輩職員との交流 （1 ヵ月の振り返り） ⑯介護技術の基本（食事） ⑰オリエンテーション６ 消防設備の使用方法 ⑱介護職員に必要な薬の知識 ⑲介護記録の基本 ⑳事故・苦情・ヒヤリハットの対応 （3 ヵ月の振り返り） ㉑職種間の連携とコミュニケーション(6 ヵ月の振り返り) ㉒援助の考え方と自立支援 ㉓オリエンテーション７ 力量評価の手順と内容の理解 ㉔権利擁護と虐待・身体拘束 ㉕福祉専門職の倫理とコンプライアンス(1 年間の振り返り)	
2	4/28 5/1	20 分	掃除委託業者	感染症予防	4
3	5/20～6/5	60 分	全職員	身体拘束等適正化委員会研修	71
4	6/24	60 分	ステップ 1	コミュニケーション	3
5	6/30	60 分	ステップ 3	介護過程の理解	5
6	6 月-8 月	各 60 分	管理職 監督職	スーパービジョン研修	2
7	7/1 7/6	各 60 分	介護員 相談員	食事介助	42

番号	実施日	時　間	対象	内　　容	参加数
	7/10				
8	7/8	60 分	ステップ 2	介護保険の理解	3
9	8/31	60 分	ステップ 1	サービス管理とリスク管理Ⅰ	5
10	8/17-19	各 60 分	全職員	感染症対策研修	65
11	9/24 9/25 9/28	各 60 分	介護職員	医療的ケア「褥瘡予防」	43
12	9/30	60 分	ステップ 3	リーダーシップの理解	5
13	10/19	65 分	ステップ 2	サービス管理とリスク管理Ⅱ	2
14	10/12 10/14 10/16	各 60 分	全職員	身体拘束等適正化委員会研修	
15	11/24 11/25 11/27	各 60 分	全職員	「感染症研修」	48
16	11/6 11/9 11/13 11/16 11/24 11/30	各 60 分	ステップ 4	原因分析と再発防止	23
17	9 月-12 月	各 60 分	監督職 指導職	スーパービジョン研修	15
18	11 月-1 月	各 120	監督職研修	キャリアパス対応型研修 （チームリーダーコース）	7
	1/25	60 分	ステップ 2	スーパービジョン研修	2
19	1/27.28	各 30 分	介護職員	スーパービジョン研修	32
20	2/22 2/24 2/26	各 60 分	介護職員 相談員 医務	認知症研修	44

(2) 外部研修

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
1	8/25～9/25	介護支援専門員更新研修	オンライン	小畑　廷洋
2	8/31～9/3	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	伊藤　政利

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
3	9/14～9/17	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	伊藤　政利
4	10/5 10/8 10/15 10/23.24	介護支援専門員研修専門Ⅰ	オンライン	糸田　恵
5	10/13～ 1/20	痰吸引研修（全 10 回）	つくし苑会議室	高橋　由香 上田　美穂子 川口　留美子 畠山　寛満 小笠原　凜子 井上　麻尋
6	10/21	障がい者雇用促進セミナー	中央公民館	小畑　廷洋
7	11/6	コロナ対策出前セミナー	成章園	佐藤　英明 高橋　由香
8	11/12	職場定着セミナー	中央公民館	小畑　廷洋 田畑　杏理沙
9	11/25	労災病院多機関合同研修	労災病院	小畑　廷洋 苗代沢　輝栄 糸田　恵
10	12/14	職務分析・職務評価セミナー	オンライン	伊藤　政利

令和２年度　大館市デイサービスセンター大滝　事業報告

令和２年度は、結果的には実績を上げられない状況が続いた。原因としては、複数回利用している利用者の施設入所や入院による利用停止が重なり、それを補う新規利用者数が確保できなかったことが挙げられる。特に冬期間は、体調を崩す利用者が多く、予定数に対する実績減少が著しいものであった。年間の延べ利用人数は平成３０年度 10,292 人、令和元年度 10,143 人、令和２年度は 9,876 人と利用人数の減少幅も大きくなっており一層厳しい事業運営となっている。今後も地区内の高齢者数ならびに要介護高齢者数の把握に努め、事業実施体制（営業日・営業時間・人員体制等）の見直しを含め収支適正化に努める。

重点目標は、「利用者が小集団で参加できる活動を増やす」ことに取り組んだ。これまでは比較的大人数で行うレクレーションなどが多かったため、小集団かつ個別のニーズに沿ったものを提供できる体制を整えるべく活動に臨んだ。結果的に目標の達成には至らなかったが、利用者への関わり見直すこと等により、これまでよりも利用者それぞれの好みや興味に沿ったレクレーションの提供ができるようになった。今後も利用者それぞれが楽しめるレクレーションの提供を行うとともに、利用者が主体的に選び活動できる環境の整備を行う。

令和２年度の顧客満足度調査では、初めてデイサービスで発行している広報誌「桃源郷」に関する調査を行った。この広報は平成 24 年度に発行し８年が経過している。掲載内容については概ね高評価を頂いた。家族にとっては、デイサービス利用中の様子を知ることが出来るツールの一つとして重要な役割を果たしていることが実感できた。今後も内容の充実を図る。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症に対する対策を実施し、職員及び利用者様の感染防止に努めた。全国的な緊急事態宣言や秋田県の警戒レベルに従い、マスクの着用、手洗いの励行、送迎車輌及び施設備品の消毒等の対策を講じた。また、利用者及びその家族の県外への往来等の把握に努め、安心して利用してもらえるよう取り組んだ。

今後も利用者のニーズに対応し、感染症が発生した場合であっても可能な限りサービスの提供に努め、利用者の利益及び利便性を損なうことが無いよう取り組む。

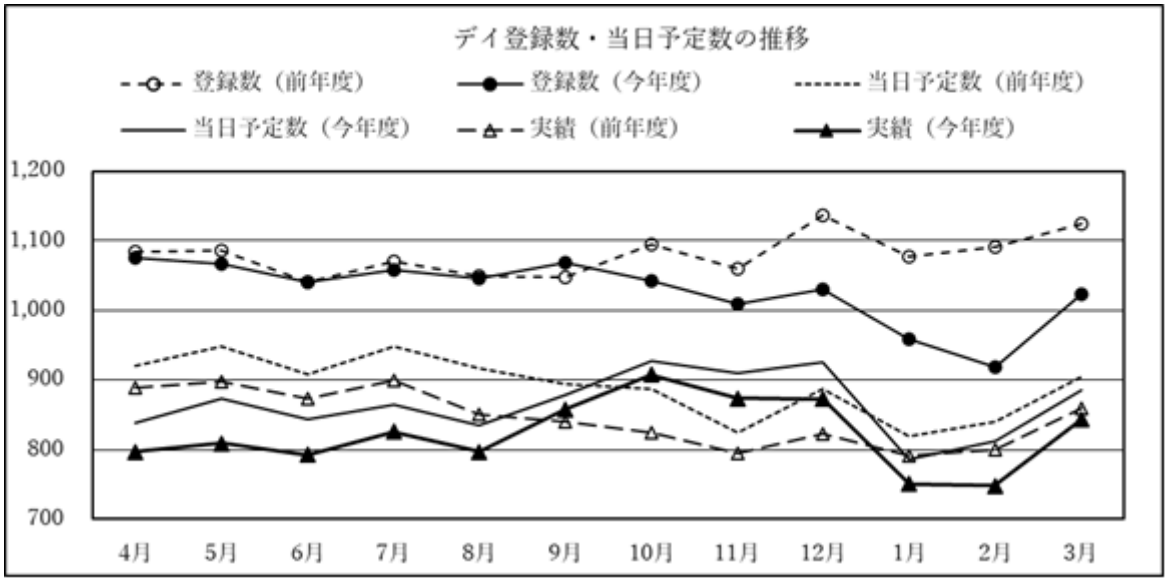
令和３年３月３１日

大館市デイサービスセンター大滝
管理者　和田　誠美

１．事業実績

(1) サービス実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
営業日数	30	31	30	31	30	30	31	30	31	29	29	31	363	362
登録数（延）	1,076	1,067	1,041	1,058	1,046	1,069	1,042	1,009	1,031	959	918	1,023	12,339	12,965
予定（延）	839	873	844	864	835	879	928	909	926	786	812	885	10,380	10,699
実績（延）	797	809	793	826	797	858	908	874	873	751	748	843	9,877	10,143
総合（実）	46	44	44	48	44	41	43	44	48	44	43	45	534	590
介護（実）	74	74	73	70	68	75	79	77	73	68	68	70	869	731
合計（実）	120	118	117	118	112	116	122	121	121	112	111	115	1,403	1,321



(2) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延人数	構成比
事業対象者	15	14	16	17	12	13	14	14	17	14	14	14	174	12.4%
要支援１	6	6	4	6	6	4	4	4	6	6	6	6	64	4.6%
要支援２	25	24	24	25	26	24	25	26	25	24	23	25	296	21.1%
要介護１	32	35	31	27	29	32	31	31	28	28	28	28	360	25.7%
要介護２	29	26	30	29	28	30	34	33	32	30	30	30	361	25.7%
要介護３	9	9	8	10	9	9	10	10	10	8	8	8	108	7.7%
要介護４	2	2	2	2	1	3	2	2	2	1	1	3	23	1.2%
要介護５	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	17	1.2%
計	120	118	117	118	112	116	122	121	121	112	111	115	1,043	100%

2. 行事実施状況

月	行事・レク名	実施日	
5	季節湯（りんごの湯）	5/11（月）～5/1（日）	7 日間
6	年間オリンピック（1）	6/22（月）～6/2（日）	7 日間
7	外出レク（ドライブ）	7/13（月）～7/19（水）	7 日間
8	デイ夏祭り	8/17(月)～8/23(日)	7 日間
9	敬老会	9/22（月)～9/27(日)	7 日間
１０	外出レク（紅葉ドライブ）	10/26（月）～11/1（日）	7 日間
１１	季節湯（りんごの湯）	11/9（月）～11/15（日）	7 日間
	年間オリンピック（2）	11/16（月）～11/2（日）	7 日間
１２	クリスマス会	12/21（月)～12/27（日）	7 日間
1	お正月を楽しもう	1/11（月）～1/17（日）	7 日間
2	節分	2/2（火）	1 日
	年間オリンピック（3）	2/15（月）～2/21（日）	7 日間
3	デイオリンピック表彰式	3/1（月）～3/7（日）	7 日間

3. 研修参加状況

(1) 内部研修

月	場　所	研　修　名	講　師
6	デイホール	介護事故の予防と再発防止 新型コロナウイルス感染症について	蛇川侑希 北林綾　宮崎恭子
7	デイホール	介護予防及び要介護度進行予防について	明石俶子
9	デイホール	身体拘束、プライバシー保護について	宮崎恭子　高見昭弘
１０	デイホール	スーパービジョン	石田浩幸
１１	デイホール	感染症について（実技・講義）	北林綾

(2) 外部研修

月	研　修　名	場　所	参加者
	令和 2 年度は参加実績なし		

4. 品質目標活動報告

【部門目標】　　「利用者が小集団で参加できる活動を増やす」

【設定理由】

現在は、比較的大集団で実施しているレクなどが多く、満足度は概ねが高いものではあるが、関わる人員も比例して多くなるといったデメリットや、個別のニーズに必ずしもフィットしていない現実があった。種類は少ないが、小集団で実施しているものから、「デイでの楽しみが増えた」といった声もあったこと、そしてアンケートの結果、普段の生活で出来ないこと、楽しみながらの運動をしたいといったニーズもあったことから、利用者にとってより個別でも充実したサービスを提供していくことを目標とした。

【現状把握】

利用者のレク実施状況の把握として、曜日毎の参加状況を確認した。

今よりもみんなが色々な活動に参加し、楽しいレク時間を過ごせるような対策を講じることとした。

【対策の実施】

- レクレーション責任者の役割を具体化し、レクリエーション実施時の役割分担等の職員配置を指示できるようにした。
- テーブルゲーム等遊び道具を整理整頓し、利用者同士でいつでも自由に持っていき、遊べるような環境を整えた。（ネームタグを付ける）
- 利用者だけではできない作業やゲームがあり、運動レクレーションの待ち時間等は時間を有効に活用できていない部分がある。対応する職員が介護員だけでは足りない時は状況に応じて医務や機能訓練、相談員にも協力を仰ぐシステムとした。

【効果の確認】

結果としてレクへの参加人数増加という結果は得られなかった。原因としては、利用者の入れ替わりや ADL の低下、時期的に創作活動への参加が増えてしまったこと等が予想される。

【まとめ】

数字として結果は得られなかったが、この取り組みをきっかけに一人ひとりに合ったゲームの提供や、その人の得意分野を把握しようとする意識に繋がった。また、職員の行動としてもレクの時間はホールに居るよう心掛けた、利用者の状況に応じてゲームの手伝いなどが行えるようになった、という声があった。これからも利用者様の主体性や可能性を活かせるような関わりを続けながら、環境の整備や新しいレクレーションの提供も行いたい。

令和２年度　大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション事業報告

令和２年度は、一人暮らしの認知症高齢者や、悪性腫瘍などの重度の疾患を抱えている利用者が目立った。しかし、介護力の不足や高い医療ニーズにより、施設入所や入院することで支援が終了するケースが多かった。このような高齢者が少しでも長く在宅生活を継続するためには、日常生活における健康面、精神面を安定させることや、大事に至る前の小さな変化に気付くことが大切であり、関係機関と連携しながらサービス提供に努めた。

在宅生活を継続するためには、利用者個々の状況を踏まえた自立支援が必要になるが、自立支援に対する専門知識が不足していること感じる場面も見られた。買い物や服薬管理、電話応対などの「手段的日常生活動作（IADL)」の維持と残存機能を活用した援助が行えるよう知識を深め、援助の中で気づいた変化をケアマネジャーに情報提供し、多職種連携によるチームケアに繋げたい。

令和２年度の訪問件数は、ひと月当たり概ね 55０件前後で推移した。新規依頼で多かった援助内容は令和元年度と同様に通院援助であったが、通院援助から身体介護や生活援助の依頼につながるケースはほとんど無かった。理由としては、急性期の依頼が多く、入院・死亡のため短期間での援助終了となっているためである。またケアハウスほうおうの利用者においては、特定施設入居者生活介護との契約による訪問介護の終了も比較的多かった。

援助内容における身体援助（身体介助）の依頼内容は、ガン末期等におけるターミナルケアに伴うものが多く、短期間で終結することが多かった。生活援助（家事等の生活介護）や介護予防・日常生活支援総合事業については、認知症の進行に伴い、生活環境を整える内容の援助が多くあった。また依然として病院への交通手段に困っている高齢者は多く、福祉有償運送サービスの依頼は増加している。

品質目標は、令和元年度から引き続き「分かりやすい記録の書き方を学ぶ」とし取り組んだ。記録のポイントを何度も復習し、分かりやすい記録のポイントを検証することで学びを深めた。日々の記録では、学んだことを意識しながら書くことで、要点がまとまり、記録に要する時間も短くなった。また、不適合報告書の原因分析が掘り下げやすくなり、有効性のある再発防止策につながっている。

令和２年度の顧客満足度調査では、概ね高い評価を得ることができた。今後も生活支援者として、ヘルパー自身が規律を守り、専門性を高められるようスキルアップに努める。

令和３年３月３１日

大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション
管理者（サービス提供責任者）　伊藤　裕子

1.　事業実績

(1) 利用人数（実）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
訪問型（総合）	28	25	25	26	23	23	25	26	23	23	26	25	298	42.2%

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
訪問介護	30	29	30	35	31	35	33	32	32	26	30	31	374	53.0%
障がい者支援	3	3	3	2	4	3	2	2	3	2	4	3	34	4.8%
福祉輸送（再掲）	20	26	18	27	17	22	24	21	19	22	20	25	261	
計	61	57	58	63	58	61	60	60	58	51	60	59	706	100.0%

(2) 活動件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
訪問型（総合）	112	100	100	109	98	109	109	109	108	107	105	128	1,294	19.3%
訪問介護	298	322	337	352	317	351	350	340	324	321	297	413	4,019	59.9%
障がい者支援	9	9	10	9	9	10	9	8	10	9	9	7	108	1.6%
福祉輸送	117	111	126	122	101	110	118	103	94	93	73	119	1,287	19.2%
計	533	542	573	592	525	580	586	560	536	530	484	667	6,708	100.0%

(3) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
事業対象者	11	11	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	139	20.7%
要支援Ⅰ	5	4	4	3	2	2	3	3	3	3	3	3	38	5.6%
要支援Ⅱ	12	10	9	11	9	9	10	11	9	9	12	11	122	18.1%
要介護１	8	8	8	8	8	7	7	8	6	6	8	7	89	13.2%
要介護２	12	12	15	17	16	18	16	17	16	14	15	16	184	27.3%
要介護３	8	7	6	5	5	6	7	4	5	2	3	4	62	9.2%
要介護４	2	0	0	1	0	1	1	0	1	4	0	1	11	1.6%
要介護５	0	2	1	3	2	3	2	2	4	2	4	3	28	4.2%
計	58	54	55	60	54	58	58	57	56	51	56	56	673	100.0%

2. 研修参加状況

(1) 内部研修

月	研　修　名	場　所	講　師	人数
4	マニュアルの見直し	事業所	小松　政子	7
	法令遵守　コンプライアンス規程の確認	事業所	伊藤　裕子	7
	安全配慮義務を考慮した移送サービス （福祉有償運送講習参加内容）	駐車場、敷地内道路	伊藤　裕子	6
5	新型コロナウイルス感染症感染対応について	事業所	伊藤　裕子	7
6	認知症ケア、コミュニケーション力アップ～傾聴について～	事業所	小松　政子 小林　幸子	6
7	担当地区の災害危険について学ぶ	事業所	工藤　恵子	6
8	低栄養について	事業所	小松　政子 畠山　優子	6

月	研　修　名	場　所	講　師	人数
9	フィジカルアセスメントについて学ぶ ～高齢者によくある疾患や症状を理解し、緊急時へ繋げる～	事業所	小林　幸子 伊藤　裕子	6
１０	分かりやすい記録の書き方について学ぶ④	事業所	伊藤　裕子	7
１１	分かりやすい記録の書き方について学ぶ⑤	事業所	伊藤　裕子	7
１２	分かりやすい記録の書き方について学ぶ⑥	事業所	伊藤　裕子	7
1	感染症対応について	事業所	工藤　恵子 畠山　優子	6
2	自立支援について学ぶ～在宅介護における自立支援とは～	事業所	伊藤　裕子	7
3	危険予知・原因分析・再発防止について ～危険予知トレーニング～	事業所	伊藤　裕子	7

3. 品質目標活動報告

【部門目標】　「分かりやすい記録の書き方について学ぶ」

【設定理由】

気づきを増やし、より良い援助を行っていきたいと話し合い、平成 29 年度から平成 30 年度までの 2 年間で「危険予知・原因分析・再発防止」を学んできた。その中で、自分たちが作成した報告書（記録）が分かりづらく、原因分析を掘り下げることに繋がらないと感じることがあった。誰が見てもわかりやすい記録をかけるようになり、気づきのレベルアップに繋げていけるように、令和元年度から引き続き、「分かりやすい記録の書き方」を学んでいく。

【まとめ】

6 回の研修を行い、ヘルパーより「学習する前の自分の記録を検証することで、分かりやすい記録の書き方が身に付いてきていることを確認出来てとても良かった」と感想が聞かれた。学んだことを何度も復習し、日々の記録にも変化してきていることを全員が確認できている。また、他事業所の分かりやすい記録を検証し、なぜ分かりやすいのか確認している。

ヒヤリハット・不適合・苦情報告書に関しては、発生状況を「わかりやすい記録の書き方のポイント」に合わせて記載することで、状況が詳しく伝わり、原因分析の時に深く掘り下げることができ、再発防止につながる策を検討することができるようになった。学んでいく中で、たくさんの記録に目を通し、ヘルパー全員が「何が発生したのかという内容が報告書の先にあると読みやすい」ということに気が付いた。この気づきは、分かりやすい記録の書き方のポイントが身に付いてきているという自信へ繋がり、学んできて良かったと感じることが出来た。

今後も分かりやすい記録を継続していけるように、記録のルールを確認する機会を作り、振り返りを行っていく。歯止めとして「わかりやすい記録の書き方のポイント」を業務マニュアルに載せた。

令和２年度　ケアプランセンターおおたき　事業報告

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の流行等により、あらゆる面で変化に対応しなければならない一年となった。

ケアプランセンターおおたきでは、給付管理件数の増加を目指し、そのためには地域や病院からの信頼を得ることが必要と考えた。しかし、取り組む予定としていた医療機関等の会議ならびに研修会への参加協力については、新型コロナウイルス感染防止対策として概ね中止となってしまった。ただ、そのような中でも新規相談件数は、令和元年度とほぼ変わりなく維持することができた。相談連絡元で最も多かったのは地域包括支援センターからの依頼で年間 28 件、他、家族から直接の依頼が９件、医療機関からは１件であった。12 月に職員１名の退職があり、給付管理件数は少なくなっているが、ケアマネジャー1 名あたりの担当件数は年間を通して増加している。今後も、他機関の立場を理解することを目的として研修を開催し、医療機関や他事業所との情報連携を通じて関係性を構築し、請求実利用者数の増加に取り組んでいく。

居宅介護支援部門としては、ケアマネジャー個々の力量の向上のためケアプランセンターはぎのだいと協働し、合同研修を開催した。令和２年度上半期は、モチベーションの維持ならびに心身の健康保持を行い仕事に臨むことができるよう、ストレスの対処法（ストレスコーピング）を学んだ。下半期には相談力の向上を目指し、課題分析（アセスメント）の基本を学び、ケアマネジャー間でアセスメントを行う上での工夫点を共有する機会を設けた。

最後になるが、ケアマネジャー個々の力量向上こそが、居宅介護支援業務全体の質の向上へつながり、そのことが利用者及び家族、また地域の関係機関からの信頼獲得へと結びついていくことを踏まえ、日々研さんに努めていく。

令和３年３月３１日

ケアプランセンターおおたき
管理者　伊藤　政利

１．事業実績

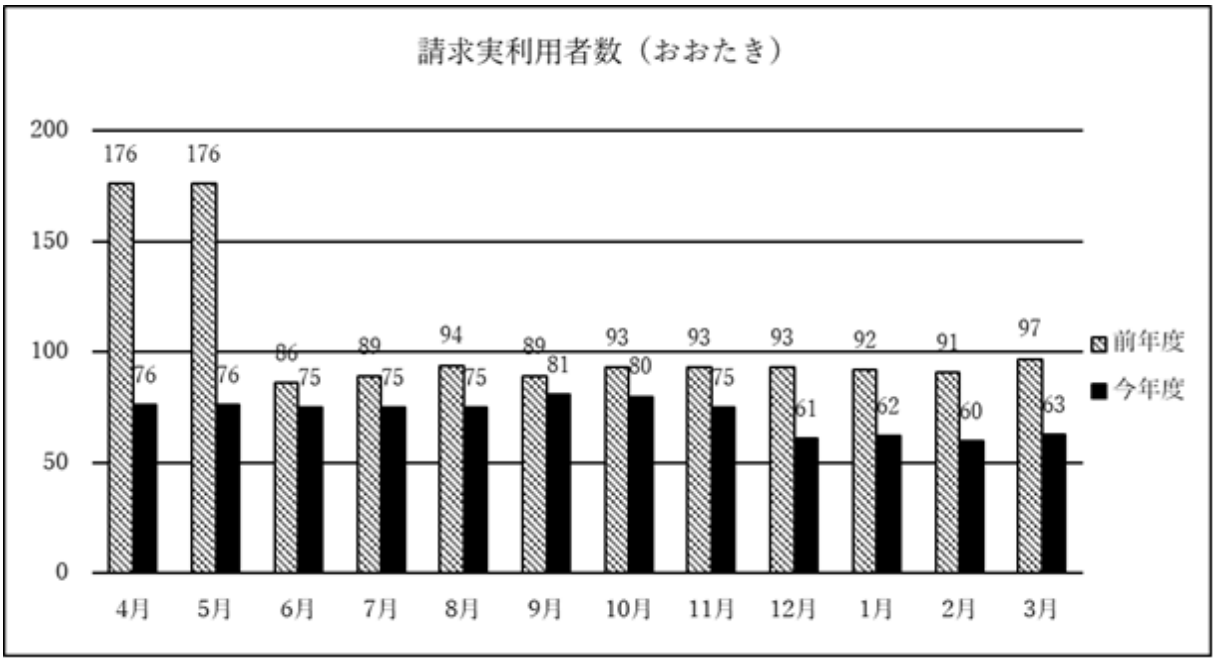
(1) サービス実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
請求実利用者数	76	76	75	75	75	81	80	75	61	62	60	63	859
予防受託件数	5	6	6	6	6	6	5	6	6	5	4	5	66

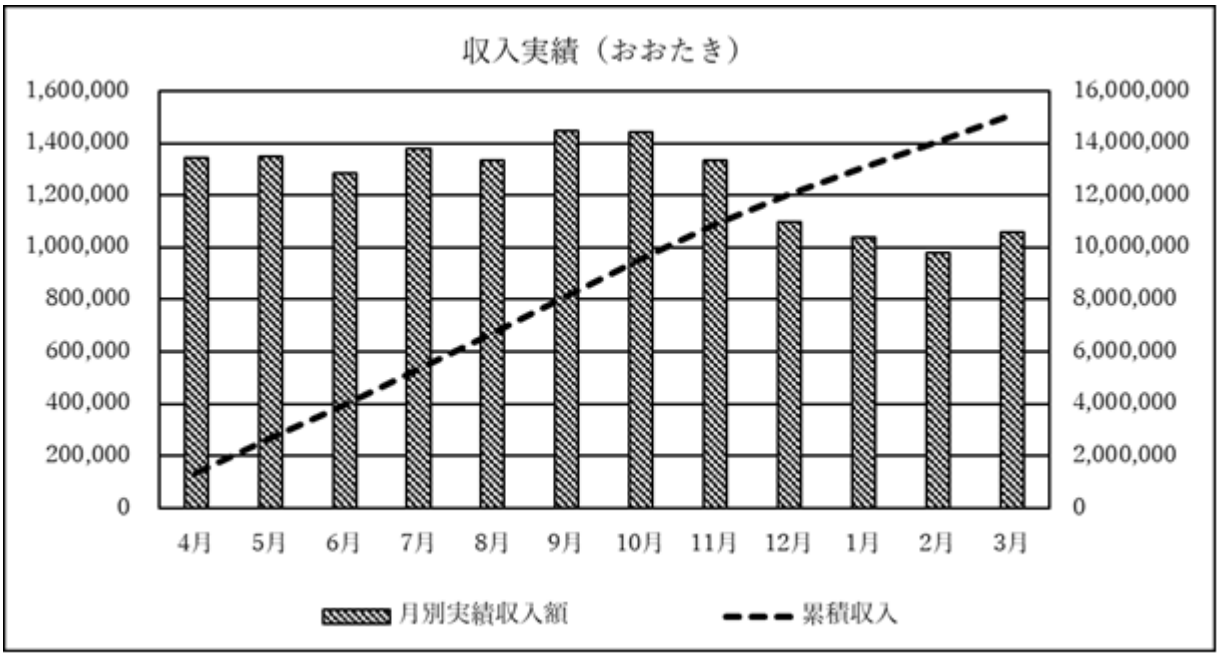
(2) 廃止・新規件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
廃止件数	1	2	3	1	1	1	5	1	3	1	1	0	20
新規件数	1	3	3	2	6	3	4	1	1	6	3	5	38

(3) 請求実利用者数



(4) 月別収入実績



(5) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延	構成	計
要介護 1	20	20	20	19	19	21	18	15	11	13	14	15	205	23.9%	59.8%
要介護 2	25	25	23	25	26	28	28	29	24	25	24	26	308	35.9%	
要介護 3	18	18	18	17	17	18	20	18	16	11	10	10	191	22.3%	40.2%
要介護 4	9	9	10	10	9	9	8	7	5	8	8	7	99	11.5%	
要介護 5	4	4	4	4	4	5	6	6	5	5	4	4	55	0.4%	
計	76	76	75	75	75	81	80	75	61	62	60	62	858		

2. 研修参加状況

(1) 内部研修

月	研 修 名	場 所
6	スーパービジョンの実際①	ケアプランセンターはぎのだい
7	ストレスコーピング	ケアプランセンターはぎのだい
8	スーパービジョンの実際②	ケアプランセンターはぎのだい
9	デスカンファレンス	ケアプランセンターはぎのだい
１０	スーパービジョンの実際③	ケアプランセンターはぎのだい
１１	相談力の向上	ケアプランセンターはぎのだい
１２	スーパービジョンの実際④	ケアプランセンターはぎのだい

(2) 外部研修

月	研 修 名	場 所	参 加 者
11	秋田労災病院　他機関合同研修	大館市	能登谷直美

3. 品質目標活動報告

【部門目標】　　悩みを共感して貰える機会をつくる。

【設定理由】

介護支援専門員の業務内容は、相談対応・モニタリング訪問・サービス調整や会議の開催など多岐におよぶが、ともすれば初心を忘れそうになったり、やりきれない思いを抱いたりすることがある。この活動によってケアマネジャーが持つ悩みや喜びを共有する機会を得たい。

【活動状況】

月	取組事項
4	年間の取り組み内容の決定
5	スーパービジョンの進め方を確認
6	グループスーパービジョン①　（スーパーバイジー：黒澤）
8	グループスーパービジョン②　（スーパーバイジー：児玉）
10	グループスーパービジョン③　（スーパーバイジー：石垣）
12	グループスーパービジョン④　（スーパーバイジー：目時）
１～3	取組みの振り返りとまとめ

【まとめ】

スーパーバイジー（事例提供者）となった職員のマネジメントに対する悩み、ジレンマをメンバーで共感し、一緒に考える機会を設けたことで、新たな気づきや発見、自分では気が付くことが出来なかった特徴を知ることにつながった。４回のグ

ループスーパービジョンを行う中で、気持ちが前向きになったとの感想が聞かれた。

この取り組みによりスーパービジョンの有効性が確認でき、より効果的なスーパービジョンが実施できるよう継続して取り組む。

令和２年度　ケアプランセンターはぎのだい　事業報告

令和元年６月１日に、萩野台に事業所を開設してから２年余りが経過した。開設当時は、事業所のことを知ってもらうために取るべき対応が分からず戸惑いもあった。しかし、近頃は地域の人が相談に訪れてくれるなど、少しずつではあるが事業所が地域住民に認知されてきたと感じている。

今後は、請求実利用者数の増加にむけ、広報の幅を拡げ、地域の方はもちろん関係機関においても身近な事業所となるよう活動していく必要がある。

部門内の重点目標としては、ケアプランセンターおおたきと協働しグループスーパービジョンに取り組んだ。スーパービジョンにより、ケアマネジャーが持つ悩みや思いが共有されたことで、新たな気づきや発見があり気持ちが前向きになったとの感想が得られた。

今後も、利用者にとって最善の利益を追求できるよう、ケアプランセンターおおたきとの協働によりケアマネジャー個々の資質向上に努めると共に、関係機関との連携を図り、利用者及び家族、そして関係機関からの信頼が得られる事業所を目指し活動することを誓い、事業報告とする。

令和３年３月 31 日

ケアプランセンターはぎのだい
管理者　伊藤　恵子

1.　事業実績

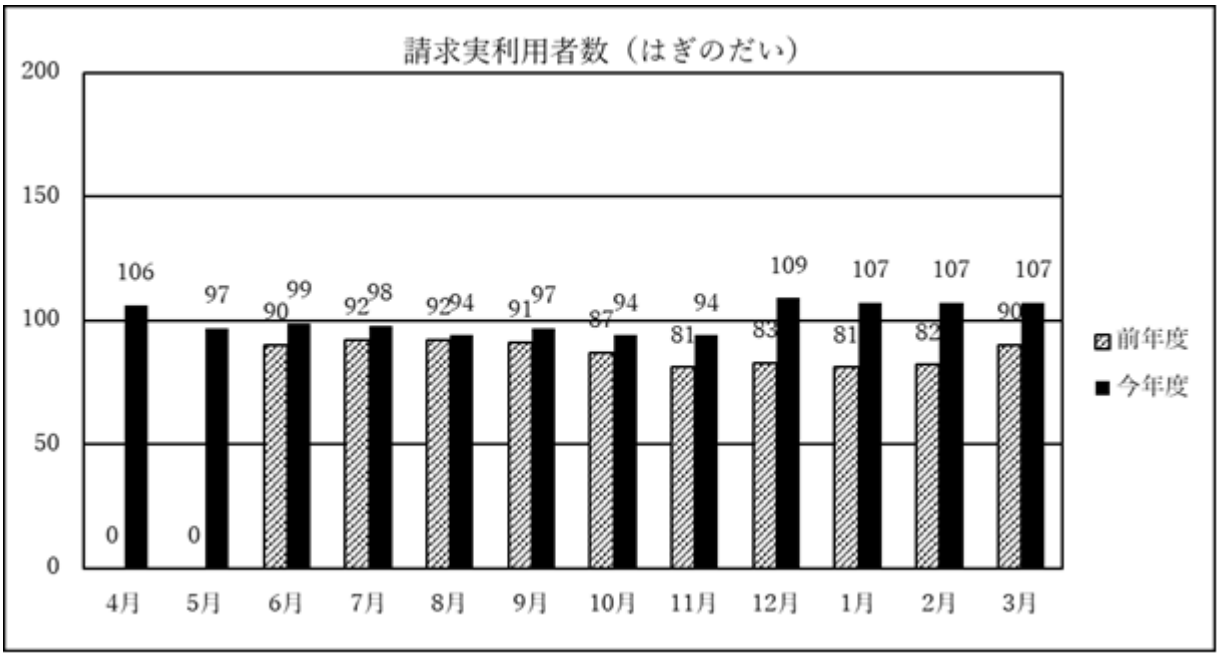
(1) サービス実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
請求実利用者数	76	76	75	75	75	81	80	75	61	62	60	63	859
予防受託件数	5	6	6	6	6	6	5	6	6	5	4	5	66

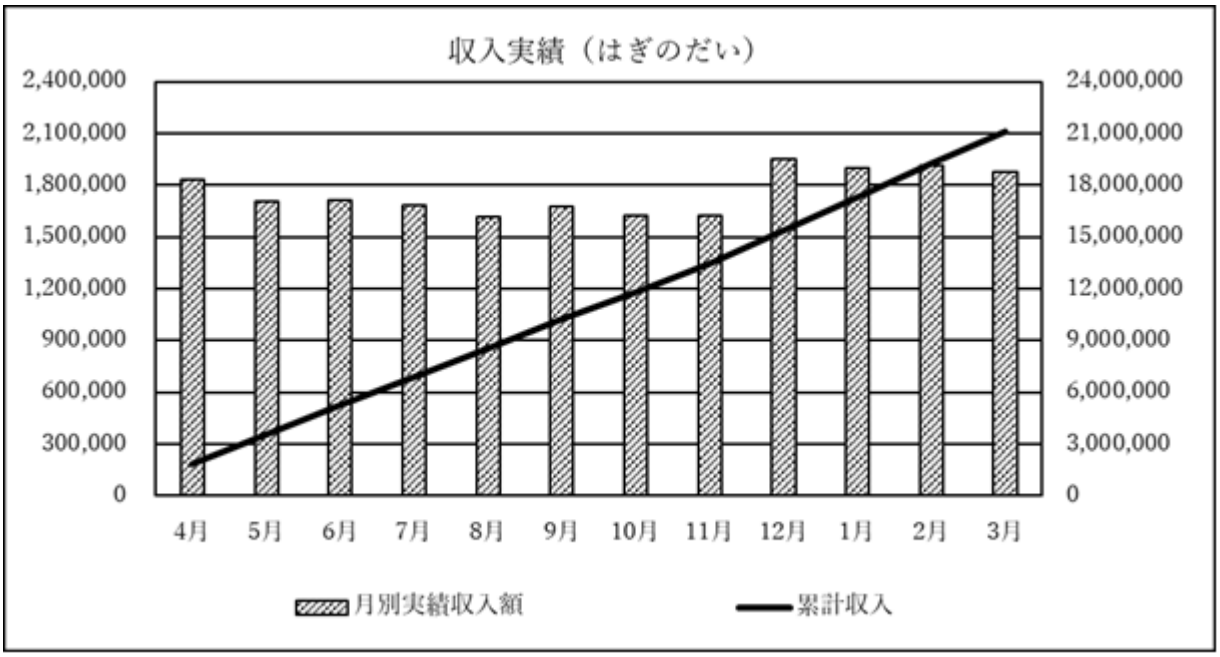
(2) 廃止・新規件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
廃止件数	1	2	3	1	1	1	5	1	3	1	1	0	20
新規件数	1	3	3	2	6	3	4	1	1	6	3	5	38

(3) 請求実利用者数



(4) 月別収入実績



(5) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延	構成	計
要介護 1	43	40	37	36	33	34	33	33	35	33	33	32	422	34.9%	71.4%
要介護 2	36	33	37	38	37	38	36	35	39	38	38	36	441	36.5%	
要介護 3	14	12	11	12	12	13	13	13	18	18	19	19	174	14.4%	28.6%
要介護 4	4	3	6	6	6	6	7	8	11	11	11	13	92	7.6%	
要介護 5	9	9	8	6	6	6	5	5	6	7	6	7	80	6.6%	
計	106	97	99	98	94	97	94	94	109	107	107	107	1,209		

2. 研修参加状況

(1)内部研修

ケアプランセンターおおたきに同じ

(2)外部研修

月	研 修 名	場 所	参 加 者
１０～１２	主任介護支援専門員に対する指導力等向上研修①②③	オンライン	伊藤恵子

3. 品質目標活動報告

ケアプランセンターおおたきに同じ

令和２年度　大館市地域包括支援センターおおたき　事業報告

高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で自立して生活していくことを実現するため、地域包括支援センターは総合相談支援、権利擁護、包括的継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援の四つの機能の実践を通じて、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行っている。

平成３１年４月の包括圏域再編による担当圏域縮小後、新体制２年目は、新型コロナウイルスの感染予防対策によりほぼ全ての地域活動を中止とし、運営体制の見直しから始まった。その間、行政や他の地域包括支援センターと連絡を密に取り合い、新たな地域活動の在り方を模索し、各地区の民生委員をはじめとした地域リーダーの協力の下、地域の受け入れ状況に合わせながら活動を再開し、年度の中盤以降は計画通りに活動展開することができた。

令和２年度の総合相談新規受付件数は、年間 111 名（実人数）であった。寄せられた相談は、単に介護保険の申請のみならず、医療ニーズの高いケース（ターミナル期）、認知症独居、老々介護、認認介護、子が精神障害、生活困窮など、世帯が課題を抱えているケースの他、コロナ禍の中で遠方の家族支援が得られなくなったケースなど、年間を通じ複雑・多様化した相談を受け付けた。そのため、居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）をはじめとし、地域、病院、そして行政など、多職種、多事業所の連携は必須となり、職員の対応力も求められるようになった。

包括部門の品質目標活動では、「フレイル予防について地域住民に普及啓発する」との目標を設定し、日頃の地域活動での情報発信の他、秋田労災病院に健康教室用の「フレイル予防プログラム（DVD）」作成を依頼し、完成させることができた。

今後、秋田県の人口構造の推移を見ると 2030 年をピークに「高齢者の急増」とその後の減少、「現役世代の急減」が続く。それに加え、単身・高齢者世帯が増加すれば、「生活ニーズが増加」、新たな局面における課題の対応が求められる。そのような中で、センター活動における介護予防並びに多職種連携の強化、そして地域共生社会の実現に向けた地域づくりの重要性は増すばかりであると認識している。小さなセンターが担うには大きな課題が山積しているが、市と協働しながら、今後も地域の課題に真摯に向き合い、地域と共に歩むセンターとして活動の充実と機能強化に努めていくこととし、事業報告とする。

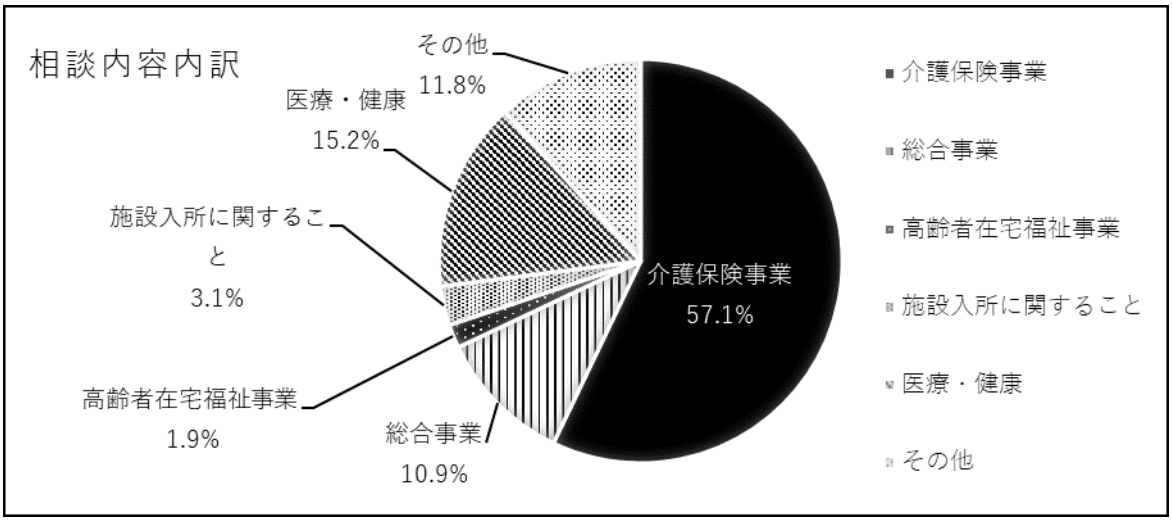
令和３年３月 31 日

大館市地域包括支援センターおおたき
管理者　虻川　江美子

1. 事業実績

(1) 相談受付状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談方法	電話相談	51	78	84	60	71	42	83	71	59	63	37	72	771
	来所相談	7	6	1	6	9	6	9	3	5	1	2	5	60
	訪問相談	69	48	54	48	52	45	47	51	67	43	50	64	638
	その他	3	2	7	5	5	8	14	7	1	7	4	5	68
相談内容	介護保険事業	50	68	77	79	88	53	82	78	82	63	60	98	878
	総合事業	18	10	23	9	11	12	17	17	15	9	6	20	167
	介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者在宅福祉事業	3	1	4	3	2	1	1	6	5	0	0	3	29
	施設入所	2	12	2	2	11	2	8	1	4	3	1	0	48
	医療・健康	22	26	17	15	15	19	27	18	13	24	17	21	234
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虐待の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	35	17	23	11	10	14	18	12	13	15	9	4	181
	合計	130	134	146	119	137	101	153	132	132	114	93	146	1,537



(6) 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計（実）
要支援 1	33	33	29	33	31	29	30	35	33	32	37	40	395
要支援 2	61	62	62	68	69	64	60	64	64	61	59	61	755
事業対象者	41	41	41	38	36	38	40	41	39	36	35	39	465
対象者数計	135	136	132	139	136	131	130	140	136	129	131	140	1,615
(うちプラン作成件数)	109	108	107	104	105	101	99	105	104	98	99	101	1,240
(うち委託件数)	13	13	13	12	16	15	14	14	14	11	14	14	163

(7) 介護予防事業など

① 生きがい健康づくり支援事業

開催回数: 35回　　参加延べ人数：391名

内　　容: 脳トレーニング、軽体操、レクリエーション

（レクリエーション内容）スカットボール、ボールダーツ、トントン相撲、創作活動（風鈴絵付け・折り紙）、ビーンボーリング等

② 家族介護者教室

開催回数: 3回　　参加延べ人数：55名

1)「介護保険制度について」

講　　師：包括支援センター職員

開 催 日：令和2年7月7日

会　　場：餌釣会館

2)「食事からフレイルを予防しよう　～骨を丈夫にする食事について～」

講　　師：ケアハウスほうおう　管理栄養士　明石　淑子

開 催 日：令和2年12月3日

会　　場：十二所公民館

3)「食事からフレイルを予防しよう　～骨を丈夫にする食事について～」

講　　師：2）と同じ

開 催 日：令和3年2月26日

会　　場：上川沿公民館

③ 認知症予防事業

1）認知症予防教室

開 催 日：　令和2年10月1日　　参加人数：　11名

会　　場：　十二所公民館

テ ー マ：　（ア）出前講座「フレイル予防」

（イ）「お薬の管理と認知症のお薬について」

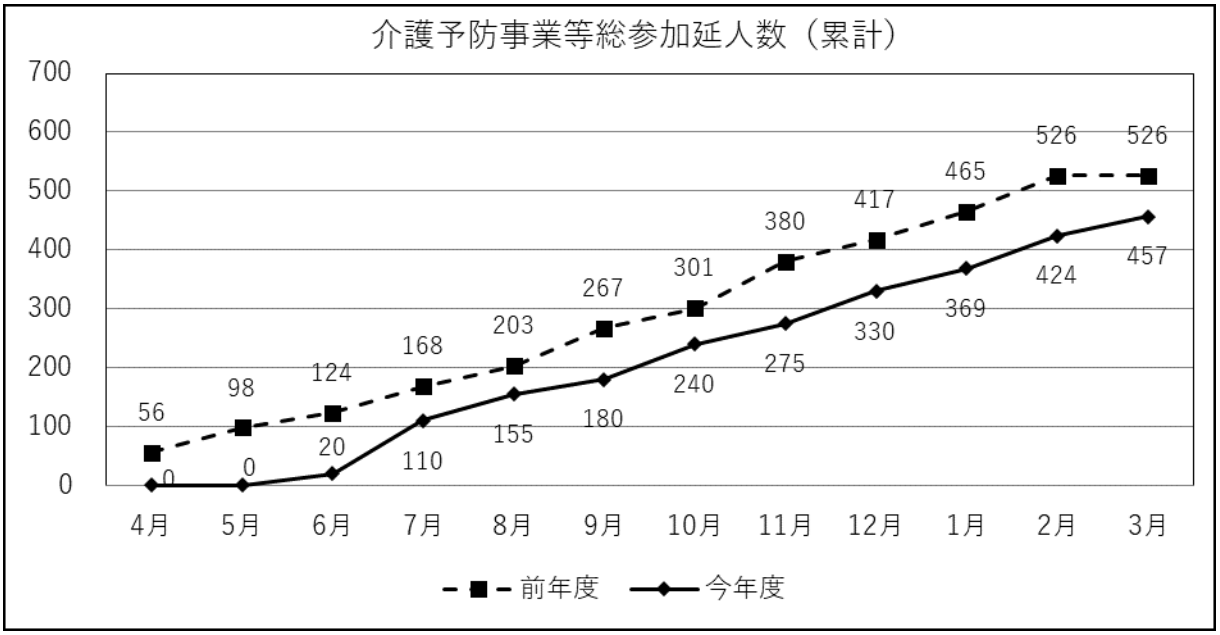
講　　師：　（ア）大館市役所健康課　保健師　田中　早霧　氏

（イ）株）日本調剤　大館薬局　管理薬剤師　渡辺千春　氏

2）認知症カフェ・・・家族介護者教室・認知症予防教室にて終了後に開催

事 業	会 場	回数（実績/予定）
生きがい健康づくり支援事業	1.北部シルバーエリア　コミュニティセンター	5 / 6
	2.十二所公民館	5 / 6

	3.五輪岱自治会館（軽井沢）	3 / 4
	4.別所会館	4 / 5
	5.沢尻生活センター	3 / 3
	6.上川沿公民館	5 / 6
	7.特別養護老人ホーム　山館苑　※中止	0 / 5
	8.根下戸会館	4 / 4
	9.舟場会館	3 / 4
	10.餌釣会館（新）	3 / 4
家族介護教室	餌釣会館、十二所公民館、上川沿公民館	3 / 3
認知症予防教室	十二所公民館	1 / 1



2. 会議開催状況

(1) ネットワーク協力員会議

開催日	概　要
5月（中止）	・委嘱状交付 ・事業報告、事業計画について書面報告
9月17日	・委員紹介（各委員より普段の業務について紹介） ・地域ケア会議 「認知症の人が地域で暮らし続けるために」
R3年3月4日	・生活支援コーディネーターの活動紹介（一層、二層） ・地域ケア会議 「地域で暮らす高齢者の見守りや安否確認について考える」

(2) 地域ケア個別会議

開催日	概　要	年度末の状況
10月23日	事例）生活環境劣悪の中、こだわりの生活を送る独居高齢者 目的）ネットワーク構築および個別課題解決 参加）担当ケアマネ、生活保護係、高齢者福祉係、地区民生委員、訪問介護事業所、包括職員	在宅生活の継続
1月14日	10月事例の2回目会議（モニタリング、課題解決の検討）	同上

(3) 高齢者虐待対応会議　・・・該当事例なし

(4) 包括おおたき圏域居宅連絡会

担当圏域内にある居宅介護支援事業所（おおたき/はぎのだい/くらす/山王台）に対し定例開催

開催日	内容/参加人数	事例提出/テーマ
5月27日	管理者・代表会議（5名）	年間予定について打ち合わせ
6月24日	事例検討会　　（15名）	ケアプランセンターおおたき 「認知症の本人の今後をどう支えるか」
8月5日	勉強会　　（14名）	「傾聴について～パートⅡ～」 大館市立総合病院　患者サポートセンター副センター長兼医事課課長補佐　工藤賢一氏
10月21日	勉強会　　（12名）	「改正相続法と成年後見の基礎について」 山口祐三子司法書士事務所　山口祐三子氏
12月2日	事例検討会　　（13名）	介護サービスセンター山王台居宅介護支援事業所 「夫婦喧嘩？DV？虐待？対応に困っている」
2月24日	事例検討会　　（11名）	介護相談室　くらす 「キーパーソン不在のケアマネ支援について」
3月24日	事例検討会　　（12名）	ケアプランセンターはぎのだい 「姉と家族の話しに違いがある際の見立てについて」

(5) その他会議等への参加状況

会議名等	回数/職員
大館市地域包括支援センター連絡会	9回（虻川/町井）
大館市地域包括支援センター運営協議会　（8月19日） 大館市地域ケア推進会議　（　〃　）	1回（虻川）
大館市在宅医療・介護連携推進協議会「専門職の勉強会・場づくり」専門部会	開催なし
グループホーム山王台運営推進会議	年6回/書面会議

会議名等	回数/職員
大滝温泉サロン千歳運営推進会議	年2回/書面会議
消防署防火診断への同行（12月1日）	1回（市村）
上川沿地区地域支え合い推進会議	3回（虻川/町井）
十二所地区地域支え合い推進会議	3回（虻川/町井）
認知症サポーター養成講座	開催なし

3. 生活支援体制整備事業

大館市生活支援体制整備事業は、高齢者の介護予防と住民主体の助け合い・支え合い活動による生活支援（買い物・外出・その他）を、一体的に進めることを狙いに、市より受託している事業である。7つの包括圏域（第２層）に生活支援コーディネーターが配置されており、市全域（第１層）と協働し活動している。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの団体が地域活動の自粛を余儀なくされた。このような状況において町内会など小地域（第３層区域）における積極的な普及啓発は困難であったが、集いの場や生活支援に取り組む団体、地域のリーダーとは適宜コミュニケーションを図り、感染予防策を取りながらサロン等の立ち上げ支援や、勉強会、話し合いの場づくり、広報活動に取り組んだ。

また、担当圏域（十二所地区・上川沿地区）の地域支え合い推進会議（以下「支えあい推進会議」）では、支え合い活動の見える化（支え合いマップづくり）や課題把握を行った。これにより、地区で行われている支え合い活動の現状や、より良い地域づくりのためのニーズを掘り起こすことができた。

地区独自の取り組みとしては、十二所地区では、住民のふれあいの拠点となる居場所づくりを進め、「道目木サロン」と、サロン千歳を利用した集いの場（以下、「ふれあい交流サロン」）の立ち上げに取り組んだ。「道目木サロン」はこれまでに２回の開催、そして「ふれあい交流サロン」は令和３年４月に初開催の予定である。

また、上川沿地区では支え合い活動に関する住民の共感と協力を得られるよう、「支え合い推進会議」で話し合われた情報を、委員が所属する団体の集まりの場において報告し、町内会など小地域（第３層区域）での新たな活動の創出を目指している。

(1)　地域支え合い推進会議の開催状況

開催地区	開催日	内　容	委　員	協力者
十二所地区	6月30日	十二所地区支え合い通信の評価と、十二所地区支え合い推進計画の共有	10人	8人
	11月27日	道目木の集いの場づくり進捗状況報告とNPO法人Kurasuから新たな集いの場提案について	9人	8人

開催地区	開催日	内　容	委　員	協力者
	1月28日	来年度の取り組みについて決定する	9人	6人
上川沿地区	9月29日	支え合い活動の見える化	5人	7人
	11月11日	上川沿地区における課題の共有とあるべき地域像を考える話し合い	6人	7人
	12月24日	次年度の取り組みの方向性を決める	5人	6人

(2)　勉強会等の開催状況

開催地区	会議名	概　要	参加者
十二所地区	道目木における集いの場づくりの話し合い	会　場：十二所公民館 開催日：10月１１日	5人
	道目木サロン立ち上げ説明会（支え合い出張講座）	会　場：道目木自治会館 開催日：11月6日	20人
	五輪岱町内支え合い勉強会	会　場：五輪岱自治会館 開催日：11月17日 内　容：五輪岱さわやかサポーターと関係者を対象とした生活支援活動事例紹介	8人
	サロン千歳を利用した集いの場づくりについての話し合い	会　場：地域包括支援センター面談室 開催日：１２月９日	3人
	十二所地区福祉員会議	会　場：十二所公民館 開催日：３月１５日 内　容：十二所地区支え合い推進会議活動報告会と情報交換　等	12人
上川沿地区	いきいき舟場サロン立ち上げのための話し合い	会　場：舟場会館 開催日：　6月24日	6人
	上川沿婦人会総会	会　場：上川沿公民館 開催日：３月１４日 内　容：上川沿地区支え合い推進会議活動報告会	44人

(2) その他

生活支援体制整備事業連絡会	6回
大館市支え合い推進会議（第1層協議体）への出席	2回
地区民生児童委員会議への出席　　（十二所地区）	2回
〃　　（上川沿地区）	1回
十二所婦人会支部長会議での事業周知活動	1回
各地区サロン、集いの場などへの訪問参加	毎月
担当圏域学校の地域活動行事などへの参加協力	1回
十二所地区支え合い通信の発行	毎月

4. 大館市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務

令和２年度より「大館市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務」を大館市より受託し運営している。この事業は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する基本方針に則り、医療専門職が通いの場に関与を深めることに加え、後期高齢者に対する個別的な支援を行うことにより、後期高齢者の健康の増進及び健康寿命の延伸に資することを目的としている。

個別支援として、低栄養予防への取組、健康状態不明者への訪問を実施した。低栄養予防への取組では、5 人の参加者へ初回訪問・3 か月に 3 回の訪問を実施し、目標体重達成率 100%の結果であった。健康状態不明者対象となった 20 名への訪問では、19 名の健康状態が把握でき、その中で 3 名が必要な医療等へつなぐことができた。通いの場等への積極的な関与として、地域のサロンへの訪問を行った。コロナ禍でもありサロン中止などもあったが、36 回の訪問で延べ 550 名の参加があった。令和３年度は、内容も追加となって継続で受託となる。地域高齢者の健康寿命の延伸に資することができるよう励みたい。

5. 研修会への参加状況

（包括関係）

月	研修名	場　所	参加者
10	介護支援専門員研修（専門Ⅰ/更新）	オンライン研修	市村めぐみ
12	令和２年度　自立支援・介護予防普及トップセミナー 「今、秋田に求められる地域包括ケアの推進」	オンライン研修	虻川江美子
11	秋田労災病院　他機関合同研修 「新型コロナウイルスの状況下においてできる退院支援を考えよう！」	秋田労災病院	町井脩徒 市村めぐみ
3	新型コロナウイルス感染症対策基礎研修	秋田市	虻川江美子
	令和２年度　地域包括ケア担当職員セミナー ①重層的支援体制整備事業の概要 ②介護予防・日常生活総合事業と地域包括支援センターの役割等について	ウエブ配信	虻川江美子

（生活支援コーディネーター関係）

月	研修名	場　所	参加者
11	令和２年度　生活支援コーディネーター活動支援研修会 「体制整備事業と感染拡大防止に配慮した活動」 「社会資源の発見と意味づけ」「社会資源の発見方法」 「生活支援コーディネーターの役割と活動を探る」 「協議体と生活支援コーディネーターの役割」	オンライン研修	市村めぐみ
2	令和２年度　トータルケア推進会議 「コロナ禍における地域福祉活動の進め方について」	オンライン研修	市村めぐみ

6. 品質目標活動報告

【部門目標】　　フレイル予防について地域住民に普及啓発する

【設定理由】

全国の平均寿命は男性 81 歳、女性 87 歳に対して、健康寿命は男性 72 歳、女性 75 歳である。この開きは「不健康な期間」と置き換えられ、いかに短くするかが問われている。近年、健康寿命の延伸のため「フレイル（虚弱）予防」が注目されており、担当圏域においても、地域住民が健康な時期からフレイルについて学び、予防に取り組むことができるよう情報発信・普及啓発を図っていくこととした。

【活動状況】

月	取組事項	内　容
4 月	目標の設定・年間計画	課題と目標の確認・年間計画作成
5～6 月	情報収集 意識調査票作成	フレイル予防に関する資料や大館市広報のフレイル予防特集などを情報収集。 住民の「フレイル」認知度を知るための質問項目の検討
7～8 月	意識調査実施・まとめ	健康教室（7 ケ所）参加者８５名に対し実施
10 月	認知症予防教室の企画 フイル予防活動の取り組み検討	10/1 大館市役所出前講座「フレイル予防」の企画調整 フレイルについて知ろう（フレイルとは何か） フレイル対策（パタカラ体操、栄養バランスについて） 健康教室で大館市作成のリーフレット配布 健康教室でオーラルフレイル予防としてお口の体操（パタカラ体操）実施。 食生活については管理栄養士に依頼し勉強会開催
10～12 月	検討内容の実践 家族介護者教室の企画 秋田労災病院との協働	健康教室 7 カ所 102 名に対し、リーフレット配布とお口の体操実施。 12/3 十二所地区、2/26 上川沿地区の 2 回に分け、管理栄養士による「食事からのフレイル予防」講座を企画調整 健康教室での実践を目指し、フレイル予防プログラム作成を依頼。打ち合わせ等。
12 月中旬～2 月	意識調査実施（2 回目）まとめ 家族介護者教室案内 秋田労災病院との協働	健康教室（9 ケ所）参加者８９名に実施 健康教室参加者への声掛け、公民館だより・ホームページへの掲載、圏域内居宅介護支援事業所への案内 フレイル予防プログラム完成。取り扱いの規定等確認。
3 月	秋田労災病院との協働	フレイル予防プログラム（ＤＶＤ）の受け渡し

【まとめ】

フレイル予防の普及啓発にあたり、当初はセンター独自にフレイル予防カードの作成を計画したが、同時期に市が市民向けのリーフレットを作成し、センター活動での配布も可能となったため、市のリーフレットを有効活用していくこととした。年間活動の中で、地域住民がフレイル予防について継続的に学ぶ機会として、センターの地域活動（各教室）を活用し、市の出前講座や管理栄養士の講話の企画、センター職員によるお口の体操の実践等に取り組んだ。また、健康教室で行う軽体操時に効果的なフレイル予防の体操ができないか検討していく中で、圏域内にある秋田労災病院の協力が得られ「フレイル予防プログラム（DVD）」の作成につながった。

フレイル予防普及前と普及後の意識調査の結果では、フレイルの認知度は上がったが、フレイル度の改善・有効性は個人を特定しない調査方法のため比較分析できなかった。

今後は「フレイル予防プログラム（DVD）」を各教室で実践していくことで、地域住民が効果的にフレイル予防に取り組む場を提供していくこととする。

令和２年度　大館市ケアハウスほうおう　事業報告

■ 大館市ケアハウスほうおう（一般型 30 床、特定施設入居者生活介護事業 20 床）

令和２年度は新型コロナウイルス感染防止対策に終始した１年であった。発生時のマニュアル整備及び研修の開催、玄関手洗い場の設置やオンライン面会などの環境整備を行った。

入居者対応においても、面会・外出・外泊の制限等により、「あたりまえの日常」を送ることができない状況であった。外部者を招いての行事や外出行事も中止したため、楽しむ機会を中々得られない状況に加え、面会制限によりオンライン面会のみの対応となっていることから、自力外出が困難な特定入居者には特に生活に楽しみを得られない状況が続いている。オンライン面会の他、状況によってはドア越し面会を実施するなど近隣の感染状況などを勘案しながら、柔軟な対応を今後も続けたい。

経営面においては、自主事業である特定施設入居者生活介護の定員枠 20 名が定員割れする月が９か月に及んでしまった。これまでは現場での援助の総量などを考慮し移設の検討をしてきたが、年度後半からは特定待機者の状況なども勘案し、毎月運営会議にて移設を検討する手順とした。手順を継続し安定した経営に繋げたい。

目標としていた「家族との連絡方法を検討する」においては、コロナの状況もあり満足な検討ができなかった。来年度改めて相談・看護部門で取り組む予定であり、コロナ禍の状況も見据え対応方法を構築したい。

■　配食サービス事業

平成２９年度より、大館市介護保険事業の地域支援事業として本事業を開始している。令和２年度は事業開始から４年目となり、地域に根ざしたサービスとなっている。前年の年間 2,508 件の利用件数から、さらに伸び年間 3,063 件の実績となった。毎日配食を利用する人が継続して利用していること、また安否確認などの見守りとして配食弁当を利用したいという人が増えたことも実績の増加につながった。

令和３年３月 31 日

大館市ケアハウスほうおう
施設長　鎌田　俊

1. 部門別報告

【介護部門】

令和２年度は「確実に水分補給する仕組みを考える」という部門目標に取り組んだ。これまで職員によって異なっていた水分の提供量を 150 ccに統一して、残量でおおよその水分摂取量を確認できるようにし、提供者と確認者が違った場合でも摂取量が確実に確認できるようにした。水分摂取制限がある入居者の他、１名は目標の１日 1,000 ㎖摂取をクリアできなかったが、その他の入居者は目標を達成した。取組前と比較すると水分摂取量は全体で 176％増の成果であり、確実に全体摂取量は増加した。また介護員側でも常に水分摂取の声掛けが意識づけされた。

【看護部門、相談部門】

令和元年度より継続して「情報提供書の見直し」と「ケースファイルの整理」に取り組んできた。ケースファイルは情報資料が年々増え、煩雑となっていた特定入居者のケースファイルを重点的に見直した。項目毎に資料を分け、時系列にファイリングし整理した。

情報提供書の見直しにおいては、入退院時に診断名・入院歴・感染症を確認し、入退院のチェックリストを活用して記入漏れの対策を取った。通院時、新たな診断名がついた場合は都度更新する。記入漏れの再チェックとしてはケアプランの更新、見直しの際に情報提供書の内容を確認することとした。

【栄養部門】　「口腔ケアの重要性の理解を広める」

特定入居者で実施している、歯科衛生士の訪問時に受けている指導内容を、令和２年度は一般入居者にも伝達するために、健康チェック時の声がけの実施、みんなの勉強会では口腔ケアについて講話を行った。講話では、オーラルフレイル（口腔機能の衰えが全身の老化につながる、という考え方）の意味、セルフケアの掃除、またプロフェショナルケアとして歯科受診の薦め、日々の口腔体操について詳しく説明し、参加者からは好評の声があった。

【事務部門】

交換の必要な設備や不具合の起きている機器等は、緊急時も含め速やかに大館市に対し予算要求を行った。

各居室の出窓や衛生設備等台数の多い設備も含め、経年劣化により交換が必要とされる個所は、おおよその年次計画は大館市へ提示済であるが、予期せず緊急を要する事態となる個所もある為、それらも含め大館市と協議しながら今後も予算要望を継続していく。

2. 品質目標活動報告

【部門目標】　「確実に水分補給する仕組みを考える」

【設定理由】

高齢者にとって水分不足は様々な病気を引き起こす要因となる。その為水分は不可欠なものであるがあまり摂取したがらず、必要量が足りていない傾向にある。また自己管理されている入居者については把握できていない現状にある。その為確実に必要量を摂取できるよう為の仕組み作りを考えていく（なお、対象は特定入居者限定とする）

【活動状況】

月	項　目	内　　容
4	目標の設定	介護部門会議で品質目標の課題の確認
5	現状把握	水分補給表による現状把握
6	対策及び実施	毎月水分量を確認しながら個々に対策を実施。

月	項　目	内　　容
10		
11	原因分析	対策を実施しながらも１ℓに到達できないのはなぜか原因を考えた
12	実施	原因分析による対策の強化
1	まとめ、歯止め	介護会議にて水分量を確認し合い手順の確立と増加が認められた為終了。ケアプランへの反映。

【まとめ、歯止め】

特定入居者のうちすべての入居者が１日１ℓ摂取を達成できたわけではないが、以前より大幅にアップし、1ℓ摂取に近づくことが出来ている。水分補給の声掛けも職員の中で意識づけすることができており、入居者からも心掛けているような言葉を聞くことが出来ている。水分摂取量の把握は出来ており、補給の仕組みは確立されている為今後もこの手順で実施していく。

また日々の水分チェック表やケアプラン経過などの月単位の水分量を把握していくことで歯止めとしたい。なお以前には特定入居者でもあまり関わりを持つことができなかった入居者についても、訪室し摂取を促すことで会話をもつことができ、とてもよかったと職員間で振り返った。

3. 事業実施状況

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
4	8・22 30	買物代行 昼食バイキング	4 5 9 12 18 19 23 23 24	浄化槽保守点検 緊急連絡装置点検 ガス設備保守点検 敷地内ゴミ拾い 水質検査 浄化槽保守点検 エレベーター点検 グリストラップ汲み取り 大館市社会福祉施設等災害支援ネットワーク幹事会
5	14・28 27	買物代行 昼食バイキング	8 12・ 14・15 20 22 26 26 27 29	浄化槽保守点検 館内ガラス清掃 自動ドア点検 浄化槽保守点検 エレベーター点検 衛生害虫駆除 理事会（書面決議） 男子浴室シャワー水栓取り換え修繕

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
			31	108 号室ミニキッチン混合栓取り換え修繕 エレベーター診断
6	11・25	買物代行	5 19 19 23	浄化槽保守点検 浄化槽保守点検 厨房機器定期メンテナンス エレベーター点検
7	1 8 21 22 28	入居者健康診断 買物ツアー 買物代行 お楽しみ昼食会 入居者胸部レントゲン	1～2 6～7 9 24 29 31	職員健康診断 電気温水発生器工事 浄化槽法定検査 浄化槽保守点検 エレベーター点検 エレベーター診断
8	5 26 27	買物ツアー 昼食バイキング 買物代行	7 20 20 20 20 22 24 31 31	浄化槽保守点検 オンライン面会システム導入 自動ドア点検 浄化槽保守点検 配管詰まり（ピット内配管）修繕 117 号居室窓修理 エレベーター点検 厨房害虫駆除 エレベーター診断
9	9・25	買物代行	4 5・6・8・9 9 10 14 16 18 27 29	浄化槽保守点検 床ワックス・窓清掃 自動ドア保守点検 特定給食施設等指導 消防設備点検 ろ過機点検 浄化槽保守点検 浴室除菌、カビ防止散布 エレベーター点検
１０	14・29 21 30 30	買物代行 成章小学校 6 年生メッセージボード寄贈 みんなの勉強会 入居者相談会	9 17 2 20 22 23 27	浄化槽保守点検 貯水槽清掃 エレベーター点検 エレベーター法定点検 貯水槽検査 浄化槽保守点検 水質検査

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
１１	10 12・26 13 27	インフルエンザ予防接種 買物代行 避難訓練 昼食バイキング	6 9 17 18 19 19 20 20 20 23 30	浄化槽保守点検 衛生害虫駆除 水質検査 自動ドア保守点検 エレベーター点検 116 号室電気温水器修繕 特殊建築物検査 浄化槽保守点検 身障者用トイレ修繕 特殊建築物等定期調査 エレベーター点検
１２	10・21 23 28	買物代行 クリスマス会 仕事納め式	3 4 9 11 18	厨房水栓及び配管修繕 浄化槽保守点検 玄関手洗い場設置工事 エレベーター点検 浄化槽保守点検
1	4 14・28	仕事始め式 買物代行	8 11 15 20～28 21 22	浄化槽保守点検 エレベーター点検 厨房設備保守点検 玄関手洗い場増設工事、食堂手洗い場改修工事 蓄熱暖房機メンテナンス 浄化槽保守点検
2	1 10・22	開設記念食事会 買物代行	4 5 9 12 12～14 18 19 19 22 22 24	食堂他床ワックス掛け 浄化槽保守点検 給湯室混合栓交換修理 エレベーター点検、低電灯バッテリー交換 館内床ワックス掛け １０６号暖房便座交換修理 浄化槽保守点検 消防設備点検 自動ドア点検 消防立ち入り検査 衛生害虫駆除
3	10・25 29	買物代行 秋田知事選挙不在者投票	1 3 5 6	110 号室水栓カートリッジ交換修繕 浴槽循環設備洗浄消毒 浄化槽保守点検 206 号窓修繕

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
			12 17 19 24 25・26	エレベーターメンテナンス 122 号室電気温水器交換修繕 浄化槽保守点検 ろ過機点検 ボイラーメンテナンス

4. 研修実施状況

(1) 内部研修　※法人合同研修含む

月	日	内部研修(法人含)	参加者
5	25	一般入居者との関わり方	介護員、看護師
6	22、7/10・31、8/12	管理職スーパービジョン	施設長補佐
	24	個人情報の取り扱い	介護員、看護師
7	28	身体拘束	看護師、介護員
9	14、10/5、11/2、12/1	指導職・監督職スーパービジョン	副主任看護師
	16、10/13・27、11/11	指導職・監督職スーパービジョン	管理栄養士
１０	2、16、11/6・27	指導職・監督職スーパービジョン	事務主任
	6、28、11/3	指導職・監督職スーパービジョン	副主任介・計画作成担当者
	12、26、11/20、12/18	指導職・監督職スーパービジョン	副主任介護員
	23、11/20、12/18	指導職・監督職スーパービジョン	管理栄養士
１１	6・9・13・24	指導職・監督職スーパービジョン	法人 ST4 職員
	7	コロナ感染症対応研修	副主任看護師
	20	キャリアパス対応生涯研修	管理栄養士
	24	消防設備復旧研修	介護員
１２	28	コロナ感染症対応復命研修	全職員
1	15	監督職研修	管理栄養士
	28	身体拘束研修	介護員
2	10	法人ステップ 5 研修「スーパービジョン」	法人ステップ 5 職員

(2) 外部研修

月	日	外部研修(会議含)	場　所	参加者
１１	9～10	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程	秋田市	大坂　研一

月	日	外部研修(会議含)	場　所	参加者
		管理職員コース		
１２	16	養護・軽費老人ホーム・ケアハウス研修会	オンライン	平澤　陽

5. ほうおう　利用者状況報告

集計日　　令和３年３月31日現在

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢／性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	1	0	1	2	0	2	1	0	7
女	0	0	1	2	7	6	17	3	0	36
計	0	1	1	3	9	6	19	4	0	43
平均男（83.9）　女（88.2）　全体（87.5）　最高（97）　最低（66）										

(2) 在所期間の状況（単位：人）

期間／性別	１年未満	１年以上３年未満	３年以上５年未満	５年以上10年未満	10年以上５年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上	計
男	1	1	1	3	1	0	0	0	7
女	5	9	6	10	4	2	0	0	36
計	6	10	7	13	5	2	0	0	43
平均　男（５年７月）、女（５年６月）　最高　男（13年０月）、女（17年11月）全体　（５年６月）									

(3) 入退所の状況（単位：人）

	月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
新規入所者	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	5
退所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	5
月末在所者数	男	6	6	6	7	6	7	7	7	7	7	7	7	
	女	35	35	36	34	34	34	34	34	35	35	36	36	
	計	41	41	42	40	41	41	41	41	42	42	43	43	

（退所者の平均在所期間：９年０ヶ月）

(4) 入所待機者の状況（単位：人）

	大館市内	他市町村・県外	合　計
令和２年３月末	９（内夫婦０組）	０（内夫婦０組）	０（内夫婦０組）
令和３年３月末	０（内夫婦０組）	０（内夫婦０組）	０（内夫婦０組）

	大館市内	他市町村・県外	合　計
増　　減	0	0	0

(5) 介護度別の状況（単位：人）

要介護度	総合支援事業	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
令和 2 年 3 月末	3	5	3	10	5	2	1	0	29
令和 3 年 3 月末	4	1	8	8	4	2	4	1	32
増　　減	1	-4	5	-2	-1	0	3	1	

(6) 特定入居者介護度別の状況（単位：人）

要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
4 月	0	3	10	3	2	1	0	19
5 月	0	3	11	3	2	1	0	20
6 月	0	3	11	3	2	1	0	20
7 月	0	3	9	3	1	2	0	18
8 月	0	4	8	3	1	3	0	19
9 月	0	4	8	3	1	3	0	19
10 月	0	3	8	4	1	2	0	18
11 月	0	3	7	4	1	2	1	18
12 月	0	3	7	3	1	3	1	18
1 月	0	4	7	3	1	3	1	19
2 月	0	2	8	3	1	4	1	19
3 月	0	2	8	3	2	4	1	20
計	0	37	102	38	16	29	5	227
割　合	0.0%	16.9%	45.4%	16.7%	7.0%	12.8%	2.2%	

(7) 在所延べ人数（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一　般	652	651	631	677	709	656	691	685	713	704	631	708	8,108
特　定	537	583	532	532	529	577	552	536	528	572	532	620	6,630
全　体	1,189	1,234	1,163	1,209	1,234	1,233	1,243	1,221	1,241	1,276	1,163	1,328	14,738

(8) 配食サービス延べ利用人数（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
令和元年度	143	145	120	204	214	228	221	227	274	226	235	270	2,507
令和 2 年度	276	299	275	248	217	244	250	227	248	261	245	273	3,063
増　減	133	154	155	44	3	16	29	0	-26	35	10	3	556

令和２年度　大館市立老人福祉センター　事業報告

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、４月２９日から５月２０日まで個室と大広間の休憩を中止し入浴のみで対応したことと、市による女性脱衣室の屋根葺き替え工事で１日臨時休館したが、それ以外は計画どおり運営することができた。

年間利用者数は令和元年度(46,336 人)を上回る 47,100 人に達し、その内訳は６０才以上が９割を占めるとともに、回数券利用者数は全体の６割を超えた。

利用者数が増加した要因として、４月～５月は新型コロナウイルス感染対策で市内各入浴施設の臨時休業によるもの、６月以降は隣接町の入浴施設がレジオネラ菌関係で休業した影響によるものと捉えている。

ただ、冬期間(１２月～3 月)は、例年より多い降雪量と厳寒の影響で利用者数が伸び悩み、前年同期より 1,300 人少なく、天候による影響が顕著にみられた。

新型コロナウイルス感染予防対策は、５月から玄関にアルコール液の設置、定期的な換気と手が触れる箇所の消毒、マスク着用の掲示などを継続して実施し、通年での感染対策として定着させることができた。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら対策内容を随時見直しながら対応していきたい。

令和元年度に加え令和２年度にも衣類の紛失が発生したことから、再発防止対策として鍵付きロッカーを設置し、浴室入口戸のすりガラスを透明ガラスに入れ替えて浴室から脱衣室が見えるようにし経過をみることとした。

令和２年度も館内外の５S（整理・整頓・清潔・清掃・躾）や美化に努め、気持ちよく利用していただけるよう取り組み、結果として利用者数の増加に繋げられたが、年度後半にイレギュラーなことが発生した際の接遇について苦情が寄せられた事例が数件あり、対応マニュアルを見直し是正を図り、経過をみていくこととした。

令和３年度から新たな指定管理期間が始まるが、老朽化が進んでいる設備の保守管理について市担当課と連携を強化しながら、引き続き安全安心に利用してもらえる施設運営に取り組んでいく。

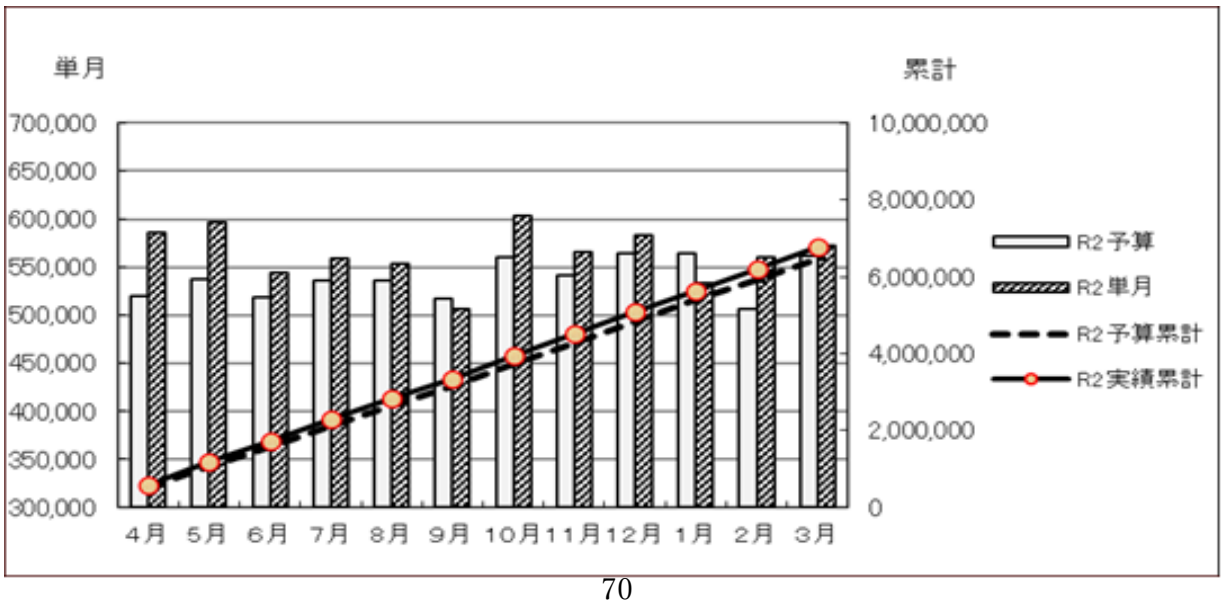
令和 3 年 3 月 31 日

大館市立老人福祉センター
所長　花田　繁盛

1. 月別・利用区分別利用実績表

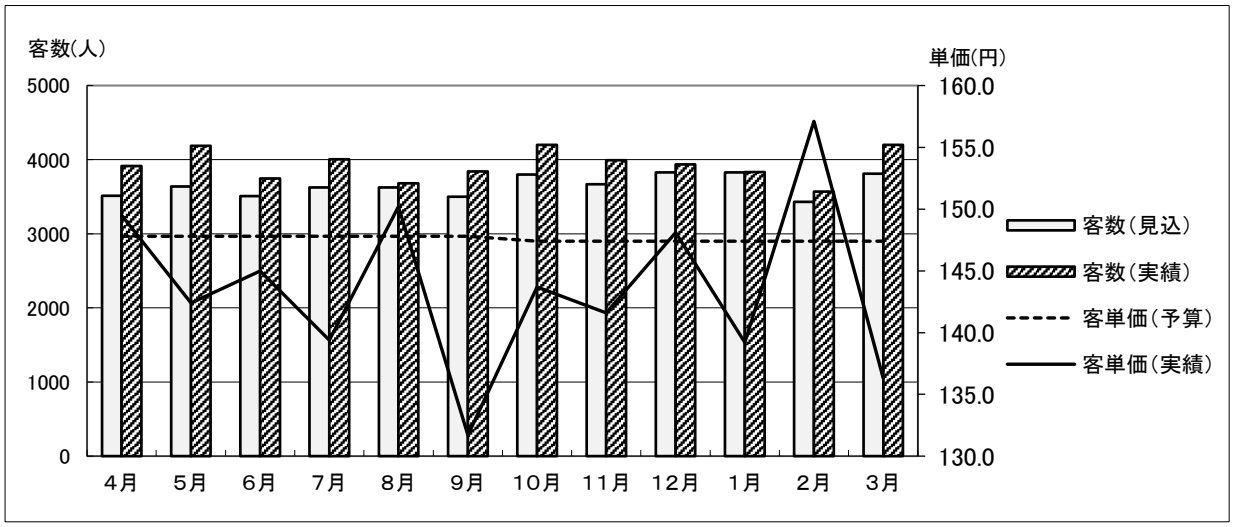
R2			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前差
入浴	60才～		3,507	3,800	3,406	3,631	3,365	3,289	3,754	3,558	3,488	3,344	3,167	3,732	42,041	40,851	1,190
	一般		251	292	189	206	185	222	264	279	245	307	247	238	2,925	2,951	-26
	子供		0	0	1	0	3	2	1	5	6	6	0.	4	28	58	-30
	計		3,758	4,092	3,596	3,837	3,553	3,513	4,019	3,842	3,739	3,657	3,414	3,974	44,994	43,860	1,134
休憩	個室	60～	54	18	80	62	42	60	81	92	110	109	98	151	957	1,381	-424
		一般	1	2	0	1	2	3	2	0	5	6	0	2	24	68	-44
		子供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	55	20	80	63	44	63	83	92	115	115	98	153	981	1,449	-468
	大広間	60～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		子供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身障等無料			103	76	72	107	85	264	97	58	84	62	55	71	1,134	1,027	107
合　計			3,916	4,188	3,748	4,007	3,682	3,840	4,199	3,992	3,938	3,834	3,567	4,198	47,109	46,336	773
来館者数	6～9時		612	710	632	658	609	651	683	606	544	432	477	614	7,228	7,239	-11
	9～12時		791	741	726	677	539	600	667	756	871	923	812	903	9,006	9,246	-240
	12～15		851	955	813	872	810	788	1,042	998	1053	994	883	1,058	11,117	10,195	922
	15～18		1,090	1,194	1,025	1,112	1,139	1,164	1,266	1,154	928	1,050	954	1,089	13,165	13,013	152
	18～20		572	588	550	688	585	637	541	478	542	435	441	536	6,593	6,643	-50
回数券使用数	60才～		2,278	2,400	2,250	2,365	2,291	2,265	2,451	2,340	2,387	2,419	2,213	2,571	28,230	26,049	2,181
	一般		69	61	52	44	46	49	53	58	53	87	89	79	740	872	-132
回数券販売数	1500		26	21	12	20	19	13	13	17	13	19	13	19	205	202	3
	3000		95	96	95	91	102	88	101	88	103	87	103	90	1,139	1,051	88
	2300		8	3	5	4	5	4	5	6	4	8	10	7	69	84	-15

2.　売上高



	予算	収入実績	予算対比	予算累計	実績累計	累計対比
4月	519,369	585,610	112.7%	519,369	585,610	112.8%
5月	537,400	596,230	110.9%	1,056,769	1,181,840	111.8%
6月	518,482	543,540	104.8%	1,575,251	1,725,380	109.5%
7月	535,775	558,460	104.2%	2,111,026	2,283,840	108.2%
8月	535,775	553,060	103.2%	2,646,801	2,836,900	107.2%
9月	517,300	505,850	97.7%	3,164,101	3,342750	105.6%
１０月	560,122	603,410	107.7%	3,724,223	39,46,160	106.0%
１１月	540,763	565,080	104.5%	4,264,986	4,511,240	105.8%
１２月	564,397	583,290	103.3%	4,829,383	5,094,530	105.5%
1月	564,397	533,730	94.5%	5,393,780	5,628,260	104.3%
2月	505,976	560,340	110.7%	5,899,756	6,188,600	104.9%
3月	562,060	572,140	101.7%	6,461,816	6,760,740	104.6%

3.利用者数、客単価（前年比較）



	客数見込	客数実績	客数対比	客単価予算	客単価実績	客単価対比	一日当り平均客数	営業日数	備　　考
4月	3,514	3,916	111.4%	147.8	148.5	101.2%	139.9	28	4/29～5/20 休憩利用中止
5月	3,636	4,188	115.2%	147.8	142.4	96.3%	144.4	29	
6月	3,508	3,748	106.8%	147.8	145.0	98.1%	133.9	28	
7月	3,625	4,007	110.5%	147.8	139.4	94.3%	138.2	29	
8月	3,625	3,682	101.6%	147.8	150.2	101.6%	127.0	29	
9月	3,500	3,840	109.7%	147.8	131.7	89.1%	137.1	28	9/21 敬老の日無料日
１０月	3,799	4,199	110.5%	147.4	143.7	97.5%	144.8	29	
１１月	3,668	3,992	108.8%	147.4	141.6	96.1%	147.9	27	11/26 日りんご湯
１２月	3,828	3,938	102.9%	147.4	148.1	100.5%	135.8	29	12/31 短縮営業（11 時
1月	3,828	3,834	100.2%	147.4	139.2	94.4%	132.2	29	1/1 短縮営業（12 時間）
2月	3,432	3,567	103.9%	147.4	157.1	106.6%	137.2	26	
3月	3,812	4,198	110.1%	147.4	136.3	92.5%	144.8	29	
計	43,775	47,109	107.6%	147.6	143.5	97.2%	138.6	340	

令和２年度　大館市ふれあいセンターやまびこ　事業報告

ふれあいセンターやまびこは、保育事業、放課後児童クラブ事業をはじめ、幼児から高齢者までの各年代層が気持ちよく利用できるよう、生きがいづくりや健康づくりの場として関係各施設や地域と連携を図りながら、利用者の側に立ったサービス提供に努めてきた。

令和元年度限りで閉園した成章保育ルーム森のおうち分を除いた、令和２年度の利用者数は 13,851 人と令和元年度より 4,889 人減少した。そのうち子ども広場・ふれあいの森公園の利用は 941 人減少し、屋内の施設でも放課後児童クラブ「にこにこクラブ」が 171 人減少した。中学生を含む一般の利用者も 980 人減少した。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染防止のため交流事業が殆んどできなかったが、今後はやまびこの施設設備の充実を図りながら、交流の場としての機能を一層発揮していきたい。また、地域や関係各機関との連携を強め、利用者及び市民の要望に応えられるよう努めていく。

《利用状況》

(1) 幼児から高齢者までの多世代交流事業は、コロナ禍のためほとんど実施できなかった。しかし、生きがい・健康づくりの場として実施しているフラワーアレンジメント教室、屋外のグランドゴルフも好評を得ている。引き続き活動の場を提供していきたい。

(2) 「にこにこクラブ」の行事は、地域の方々の参加もほとんどなかった。今後は広報活動も含め、一層充実した活動内容にしていきたい。

(3) 「にこにこクラブ」については、登録児童数が 50 人前後で推移している。今後は、活動のメニューやプログラムを多彩にするなど工夫を凝らし、児童が楽しく過ごせる場になるよう努める。

令和３年３月３１日

大館市ふれあいセンターやまびこ
管理者　渡部　清美

1. 令和２年度　ふれあいセンター利用状況調べ

令和３年３月３１日現在（各月の下段は前年度実績）

月	森のおうち	にこにこクラブ	幼児	小学生	一般・中学生含む	子ども広場ふれ森公園	見学	計	主な利用団体及び事業
4		577	8	3	26	77	0	691	フラワーアレンジメント･十二所グランドゴルフ・にこにこクラブ開講式
	133	636	213	77	210	390	0	1,659	
5		500	5	2	5	266	0	788	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント
	129	493	314	102	287	1,129	8	2,462	
6		569	91	12	102	507	5	1,286	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント・比内支援鹿角校・沼館保育所・こどもプラス
	141	560	169	50	260	426	5	1,611	
7		619	128	45	122	569	1	1,484	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント・成章小・城南保育園・有浦保育園・扇田保育園
	162	672	188	68	168	528	14	1,800	
8		592	156	39	135	584	0	1,506	十二所グランドゴルフ・わんぱく広場・真中保育所・フラワーアレンジメント・十二所保育園・桂城小
	138	590	195	63	174	477	21	1,658	
9		512	180	78	142	808	0	1,720	有浦小・釈迦内保育園・扇田保育園子育て支援センター・成章小・十二所保育園
	145	514	158	28	252	890	4	1,991	
１０		563	138	64	115	881	0	1,761	花岡保育所・川口小・十二所保育園・八幡子ども園・東館小・城南子育て支援室・比内支援学校・扇田小
	156	615	195	26	151	880	4	2,027	

１１		520	154	27	117	405	2	1,225	フラワーアレンジメント・大湯保育園・十二所グランドゴル
	148	583	177	72	143	343	7	1,473	
12		550	73	11	70	0	0	704	フラワーアレンジメント・包括おおたき健康教室
	156	560	98	25	109	23	0	971	
1		531	87	12	82	0	2	714	フラワーアレンジメント
	128	552	170	36	154	0	8	1,048	
2		449	158	23	134	0	5	769	フラワーアレンジメント
	135	517	173	57	162	2	2	1,048	
3		658	171	42	171	161	10	1,213	包括おおたき健康教室・森のおうち卒園式・にこにこクラブ閉講式
	146	519	142	31	131	111	12	1,092	
計		6,640	1,349	358	1,221	4,258	25	13,851	
前年度	1,717	6,811	2,192	635	2,201	5,199	85	18,840	
前年比	▲1,717	▲171	▲843	▲277	▲980	▲941	▲60	▲4,889	

2. 令和２年度　にこにこクラブ　事業報告

月	行　事　内　容	参　加　人　数
4	７（火）にこにこクラブ開講式 １３（月）避難訓練 １５（水）新入生を迎える会	３７人、保護者等１０人 ２１人 ３７人
5	１３（水）じゃがいも植え １３（水）防犯訓練 ２０（水）さつまいも植え	３７人 ３７人 ３４人
6	１０（水）おやつ作り(ホットケーキ) １８（水）避難訓練 ２２（月）～２６（金）七夕の飾り作り	３３人 ２６人

月	行　事　内　容	参　加　人　数
	２４（水）誕生日会（４・５・６月生まれの人）	３４人
7	７（火）七夕集会 ２２（水）避難訓練 ２８（火）じゃがいも掘り ３０（木）カレー会食	２２人 ３３人 ３６人 ４４人
8	５（水）にこクラまつり １１（火）どろ団子作り １９（水）総合避難訓練 ２０（木）スイカ割り	４６人 ２５人 ３８人 ３９人
9	７（水）おやつ作り（クレープ） １６（水）避難訓練 ２３（水）誕生日会（７・８・９月生まれ） ２８（月）野外活動・さつまいもの収穫	１９人 ３１人 ３４人 ２０人
１０	２（金）野外活動・運動会 　５（月）～　ハロウィーンパーティー衣装作り １５（水）避難訓練 ２１（水）野外活動・焼いも会 ３０（木）ハロウィーンパーティー	３５人 ２５人 ３２人 ３６人
１１	１１（水）おやつ作り（スイートポテト餃子） １８（水）防犯訓練 ２５（水）誕生日会（１０・１１・１２月生まれ）	３３人 ３３人 ３４人
１２	１（火）～クリスマスリース作り 　９（水）避難訓練 ２５（金）クリスマス会 ２８（月）にこにこクラブ忘年会	 ３０人 ３９人 ２４人
1	４（月）令和３年度にこクラ会員募集開始 　７（火）きりたんぽ会食 １２（火）昔遊びの会 １５（水）避難訓練	 ３５人 ３８人 ２６人
2	２（火）節分・豆まき １０（水）避難訓練（暴風雪・着衣訓練） １７（水）誕生日会（１・２・３月生まれ）	２７人 ２６人 ２６人
3	３（水）ひなまつり会・お茶会 １１（木）避難訓練 ２６（金）にこにこクラブ閉講式 ２６（金）お別れ会 　　肩たたき会（中止）	３８人 ２４人

令和２年度　大館市へき地保育所　事業報告

へき地保育所は、地域の幼児教育施設として、住民から信頼され、地域に根ざした保育所としての役割を果たしてきており、保護者や地域住民の協力を得て、保育事業を行ってきた。

令和元年度も、社会やご利用者のニーズに対応できる、質の高い保育を目指してきた。特に発達上課題が見られる幼児に対する配慮や、２才児保育の充実などを重点課題として、保育士の確保に努め、保育補助員を配置しながら保育を進めてきた。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、介護施設への訪問や地域の行事への参加などができず、ふれあいの機会が少なかったのは残念であった。

そして、令和３年３月には５歳児合計 47 名が卒園し、小学校入学に向けて夢と希望をもって巣立っていった。

今後も質の高い保育を提供できるよう、保育環境の整備、職員の研修の充実を図りながら保育事業を推進していく。

令和３年３月 31 日

大館市へき地保育所
管理者　渡部　清美

1.　令和２年度保育所児童数

令和３年３月 31 日現在
単位：名

№.	保　育　所　名	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
1	二井田保育所	3	4	5	4	16
2	真中保育所	2	1	5	4	12
3	下川沿保育所	4	8	4	9	25
4	沼館保育所	2	7	5	5	19
5	花岡保育所	2	4	3	4	13
6	矢立保育所	3	1	1	0	5
7	長木保育所	10	18	11	21	60
	合　　計	26	43	34	47	150

令和２年度　年間事業報告（二井田保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	土	入園式	園児２名 保護者３名
	16	木	新入児歓迎会	園児１５名　新入園児を歓迎して、５歳児から手作りプレゼント
5	12	水	子どもの日祝会	園児１５名
	24	日	保護者草取り	保護者１８名　職員５名
	26	火	さつま芋苗植え 世代間交流事業	保育士４名で行う
			保育参観	中止
	29	金	南小学校区保小連絡協議会	1年生授業参観、協議、情報交換 保育士２名
6			地区運動会	中止
	12	金	健康診断・脊柱運動器検診	園児１５名　梅内小児科クリニック医師、看護師
	23	火	スポーツフェステバル	園児１５名　保護者１８名 （園児だけが競技を行い、保護者競技は行わない）
			交流保育・バラ園見学	中止
7	7	火	七夕集会	園児１５名
	7	火	個人面談（～１０日）	保護者１２名
	22	水	子ども課　要請訪問	保育指導員　保育アドバイザー
	27	月	子どもハローワーク ～8／19 夏休み保育士体験	南小学４年生～南中学１年生　延べ４４人
	30	火	保育体験・施設見学	南小学校教諭３名
	31	金	交流保育（真中保育所と）	ブルーベリー摘み　５歳児４名　保育士２名
8	2	火	保護者草取り	保護者１５名　保育士５名
	7	水	歯磨き指導訪問・南中学生	園児１５名　南中学生８名　教諭１名
			交流保育（真中保育所と）	中止
	26	水	総合避難訓練	園児１６名　大館消防署員５名
9	1	火	交通安全教室	園児１６名　大館警察署員３名
	3	木	バス遠足	園児１６名　ふれあいセンターやまびこ
	7	月	園外保育　二ツ山公園	園児１３名（5.4.3 歳児）水遊び…噴水
	9	水	歯科検診	園児１６名　高橋歯科医師　衛生士
			親子バス遠足	中止
			交流保育（真中保育所と）	中止
			二井田地区敬老会参加	中止
	30	水	歩き遠足（栗拾い）	園児 16 名
１０	10	木	南中学生訪問	５歳児に手作り品プレゼント 南中学生２人　５歳児４人
	7	水	さつま芋掘り・世代間交流	5.4 歳児９名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
			事業	保育士４名
	9	金	北教育事務所要請訪問	保育指導員　保育アドバイザー
	12	月	りんご狩り	5.4.3 歳児１３名　保育士４名
	13	火	不審者訓練	園児１６名　大館警察署員３名
	14	水	学習発表会予行参観	５歳児４名　保育士２名
	16	金	フッ化物洗口巡回指導	５歳児４名　歯科衛生士１名
	21	水	焼き芋会	園児１６名
	28	水	園外保育　二ツ山公園	園児１３名（5.4.3 歳児）秋の自然探索
	30	金	ハロウィンお楽しみ会	園児１６名 保護者と町内の方多数、郵便局、公民館
１１			二井田公民館文化祭	中止
			親子歯科講習会	中止
			祖父母交流会・おにぎり会食	中止
	5	金	わくわく探検	５歳児４名　保育士２名　下川沿駅で特急電車見学 いとくショッピング、ミスタードーナツで買い物.お店見学
	18	水	ふれあい交流会・南小学校	１．２年生と交流 年長児４名　保育士２名
	27	金	みんなの発表会	園児１６名　２７日…保護者１８名 １２月１日…祖父母１８名
１２	10	木	わくわく探検	５歳児４名　保育士２名　文化会館・秋田犬の里見学・電車乗車体験（大館駅～早口駅）
	23	木	クリスマス会	園児１６名　少年自然の家職員１名
1	8	金	大館市教職員研究実践発表	５歳時担任が研究発表を行う
	12	火	子供ハローワーク	南小学６年生３名
	１４	木	交流保育・真中保育所へ	園児１６名
			交流保育・真中保育所から	中止
	21	木	南小学校体験入学	入学予定園児２名 保護者２名　保育士２名
2	12	水	足型とり	園児１６名
	9	火	保育参観 親子お楽しみ会（５歳児）	園児１６名　保護者１３名 ５歳児４名　保護者４名
	10	水	足型とり	園児１６名
	18	木	避難訓練・通報引き渡し	園児１６名
	19	金	令和３年度健康診断 入園説明会・新入児面接	園児１７名・新入児保護者１名
	25	木	わくわく探検卒園トラベル	５歳児４名　保育士２名　イオンスーパーセンター 買い物体験・レストランで昼食

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
3	3	水	祖父母交流ひな祭り会	園児１６名　祖父母１３名　歌、おゆうぎ披露 記念写真撮影
	4	木	卒園・終了記念写真撮影 お別れ会	園児１６名
	5	金	南小学校区保小連絡協議会	保育参観…南小学校長、１年生担任、真中保育所長 連携事業確認 情報交換 保育士２名
	9	火	卒園式予行（祖父母参観）	５歳児４名　祖父母６名
	13	土	卒園式	卒園児４名　保護者１０名
	22	月	園内研究訪問指導	保育指導員　保育アドバイザー

毎月の行事　・交通安全指導　・防災避難消火訓練　・防犯訓練　・身体測定　・誕生会

令和２年度　年間事業報告（真中保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	土	入園式	入所児２名　保護者５名 来賓なし
			保護者役員会	保護者役員７名
	13	月	新入児歓迎会	園児 12 名
5	8	金	子どもの日祝会	園児 13 名　会食
	9	土	早朝作業活動	保護者 13 名 職員２名 草取り、草刈
	21	木	ひまわりの種植え	園児 13 名　地域の方　公民館長　公民館所長
			畑の野菜植え	園児 13 名　祖父母 10 名手伝い
	29	金	南小学校区保小連絡協議会	1 年生授業参観 協議 情報交換 教諭５名 職員２名
	25	土	保育参観	中止
	28	火	交通安全教室	中止
6	9	火	園児健康診断	園児 13 名　佐々木内科医院　医師、看護師
			真中地区運動会	中止
			交流保育・二井田保育所	中止
			保育所運動会	中止
	22	月	個人面談（～25 日）	全保護者　情報交換
7	4	土	ボランティア早朝作業	真中地区シルバー人材センター会員 20 名 草刈り、草取り、花壇整備　職員１名
	7	火	七夕集会	園児 11 名 七夕由来のお話　歌やゲーム
	31	金	交流保育（二井田保育所）	5 歳児４名　職員２名　ブルベリー摘み
8	1	土	保護者早朝作業	保護者 12 名　職員２名
	4	火	保育体験、保育所見学	南小学校教職員３名
	6	木	歯みがき指導・南中学生	園児 13 名　中学生６名　教諭２名　歯科衛生士１名
	17	月	ひまわりの花収穫	園児 10 名　公民館所長　五十嵐連携委員
	18	火	じゃがいも掘り	園児 12 名
			いきいき学級交流会	中止
			プール参観	中止
9	4	金	親子レクレーション 警察署にて交通安全教室	園児 13 名　保護者 20 名　職員５名 大館警察署→ふれあいセンターやまびこ 各家庭自家用車で現地集合・現地解散
	9	水	交流保育（沼館保育所）	園児 12 名　沼館園児 18 名　引率４名
	10	木	交流保育(花岡-矢立保育所)	園児 13 名 花岡-矢立保育所年長中児８名 引率４名
	10	木	歯科検診（午後～）	園児 13 名 戸田歯科医院　医師・歯科衛生士
	11	金	りんご狩り	園児 10 名
			真中地区敬老会	中止
			総合避難消火訓練	中止

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	20	土	保護者早朝作業	保護者 12 名　職員 1 名
	26	土	保育参観 ミニ運動会	園児 13 名　保護者観覧 21 名
１０	1	木	北教育事務所要請訪問	北教育事務所指導主事　子ども課課長補佐
	9	金	さつまいも掘り	園児 13 名
	12	木	教育支援委員会	職員 2 名（特別支援入級等審査会）
	14	水	南小・学習発表会予行参観	年長児 4 名　職員 2 名
	22	水	秋の遠足	園児 13 名　職員 5 名　バス運転手 1 名
	23	木	南小学校就学時健康診断	年長児 3 名
	26	月	焼き芋会	園児 13 名
	27	火	ひまわりの種贈呈式	園児 4 名 保護者 5 名 大森山動物園
	30	金	ハロウィン練り歩き	園児 13 名 職員 5 名 真中公民館・お寺
１１			真中地区文化祭	中止
	18	水	ふれあい交流会・南小学校	年長児 4 名 職員 2 名　1.2 年生と交流
	25	水	お遊戯会予行練習	園児 12 名
	30	土	おゆうぎ会	園児 12 名 保護者 24 名(園児 1 名に対し保護者 2 名まで）　座席指定し間隔を空けて、30 分ごとに換気を行い実施
１２	23	水	クリスマス会	園児 12 名 出前講座（少年自然の家へサンタ依頼）
1	14	木	交流保育・二井田保育所へ	年長児 4 名 職員 2 名
	15	木	お寺見学	園児 12 名　職員 5 名
	21	木	体験入学・南小学校	年長児 3 名　保護者 3 名　職員 1 名
	28	木	満 5 歳児ステップ相談	年中児 5 名　巡回専門指導員他 4 名 今年度は各保育所で検査を実施
	28	木	立ち入り指導監査（午後）	北教育事務所主幹　幼保指導員　2 名による調査
	30	土	保育参観	園児 12 名 保護者 12 名 節分にちなんだ制作 各クラスに分かれ間隔を取りながら実施 30 分ごとに換気を行う
2	1	月	節分豆まき	園児 12 名 出前講座（少年自然の家へ鬼依頼）
	3	水	健康診断 新入所児説明・面接	園児 11 名 新入児 1 名 保護者 1 名 佐々木内科医院 医師、看護師
	9	火	引き渡し訓練	園児 12 名　設定：豪風雪（保護者へ事前に連絡しておき、当日一斉メール配信を流す）
	16	火	交流保育-二井田保育所	中止（暴風の為安全面を考慮）
	17	水	入学説明会(比内支援学校)	園児 1 名　保護者 1 名　職員 1 名
	25	木	卒園記念写真撮影	園児 12 名　職員 5 名
			いきいき学級生と交流会	中止
3	3	水	ひな祭り会	園児 12 名　ケーキ会食
	5	金	南小学校区保小連絡協議会	午前：二井田保育所保育参観

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
				午後：協議 年長児情報交換 教諭５名 職員２名
	10	水	お別れ会	園児 12 名　お弁当会食
	13	土	卒園式	卒園児４名　保護者８名 職員４名
	26	金	修了式	園児 12 名

毎月の行事：・交通安全指導・避難訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会（誕生児のいる月）

令和２年度　年間事業報告（下川沿保育所）

月	日	曜	行　事　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
4	4	土	入園式	新入園児４名と保護者８名のみで実施　来賓なし
	28	火	子どもの日祝う会	園児２５名　各クラスで弁当会食
5	8	金	じゃがいも植え	園児２５名　地域の方４名手伝い
	12	火	交通安全教室	中止
	21	木	さつまいもの苗植え	園児２５名　地域の方３名手伝い
			保育参観日・講演会・ＰＴＡ総会	中止
6			下川沿地区親睦運動会	中止
	5	金	ミニ遠足	園児２５名　川口小学校グラウンド遊具で遊んだ後、新道山（下中となり）でお弁当
	8	月	個人面談始まる（～１８日まで）	午睡時・降所時間等、保護者の希望の時間に合わせて実施
	11	木	祖父母草取り交流会	祖父母との草取り及び室内での交流は中止 ⇒公民館ロイヤル学級の方１０名 草取りボランティアに来てくださる
	17	水	沼館保育所との交流	延期
	30	火	児童健康診断	園児２５名受診　梅内小児科クリニック
			川口小４年生との交流会	中止
7	6	月	プール開き	中止⇒小プールで水遊び
	7	火	七夕集会	園児２３名　園児のみ　歌・紙芝居
	10	金	ラベンダー摘み	4・5歳児　立花ファームでラベンダー摘み体験
	15	水	PTA 作業奉仕	保護者７名　園庭草取り・草刈り
	16	木	ブルーベリー狩り	4・5歳児１３名　マイクロバスでえつりファームへブルーベリー収穫体験
	30	木	夏祭りごっこ	園児２５名　園児のみでホールにて実施 盆踊り・おみこし・年長児出店
	31	金	じゃがいも掘り	園児２３名　地域の方４名手伝い
8	6	木	北教育事務所要請訪問	北教育事務所武石指導主事、工藤補佐、北林アドバイザー　保育指導 下川沿中校長、川口小校長・教師２名、小林連携委員、保育参観及び意見交換
	26	水	総合避難訓練	中止
			親子歯みがき講習会	中止
9	3	木	歯科検診	園児２５名　ひがしだい歯科クリニック
	17	木	子ども課訪問指導	工藤補佐、北林アドバイザー来所 保育指導

月	日	曜	行　事　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
	24	木	川口小学習発表会予行見学	4・5歳児　低学年の発表のみ見学
	25	金	ミニ運動会	川口小グラウンド　平日の保育中に園児のみで実施 保護者の見学は自由とする…約６０名見学
			下川沿地区敬老会	中止
10	6	火	さつまいも掘り	園児２４名　地域の方４名手伝い
	8	木	なかよし遠足	児童２５名　バスで樹海運動広場へ 遊具で遊び、お弁当を食べる
			地区文化祭	中止
	23	金	沼館保育所との交流	4・5歳児１３名　バスで沼館保育所へ
	26	月	防犯訓練	児童２３名　大館警察署より３名来所
	28	水	ハロウィンごっこ	児童２５名　保育所内のみで実施
	30	金	焼き芋会	児童２５名　地域の方２名手伝い
11	5	木	年長児川口小の授業見学	5歳児９名　川口小学校１・２年生の授業を見学
	6	金	沼館保育所との交流	沼館保育所４・5歳児１０名来所
	11	水	防犯パレード	町内が下水道工事中のため、パレードは中止 玄関前で写真撮影のみ行い、警察官の話を聞く
	28	土	発表会	児童２５名　保護者は各家庭２名までとし、クラスごとに時間をずらして発表する
12	22	火	クリスマス会	児童２４名　少年自然の家にサンタ依頼、ゲーム等
	23	水	川口小学校４年生来所	交流は行わず、代表者数名が４年生全員で作成したものを持ってきてくれる
1	12	火	個人面談始まる	保護者の都合に合わせた時間で実施
	22	金	年長児カレー作り	年長児９名野菜切り
	27	水	保育参観日 親子ふれあい体操	児童２６名（一時入所の１名含む）　保護者２６名 ふれあい体操講師：菅原恵子先生
	30	土	PTA除雪奉仕 下中生除雪ボランティア	保護者１４名、下中生と先生方約４０名来所 玄関前や軒下の除排雪をしていただく
2	1	月	豆まき	児童２４名　少年自然の家に依頼
	2	火	立ち入り調査	北教育事務所（関副主幹・日景幼保指導員）監査
	5	金	Ｒ3年度入所時健康診断・説明会	児童３１名受診　新入園児６名と保護者 梅内小児科クリニック
	10	水	総合避難訓練(通報)	児童２５名
	17	水	川口小にこにこ交流会	５歳児９名参加　川口小にて一年生と交流
	18	木	お茶と和菓子の会	児童２５名　お点前をする５歳児の祖父母のみ参加とし実施（９名来所）　保護者手伝いなし
3	3	水	ひな祭り会	児童２５名　おすし弁当会食
	9	火	お別れ会	児童２５名　プレゼント交換等 おにぎり弁当会食

月	日	曜	行　事　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
	11	木	卒園記念写真撮影	児童２５名
	19	金	卒園式・修了式	卒園児（９名）と卒園児保護者（１７名）で実施 来賓 川口小学校長 卒園式終了後、在園児のみで修了式を行う

・毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

令和２年度　年間事業報告（沼館保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	入園式・保護者会総会	園児１６名 保護者 25 名 来賓２名
	16	火	新入児歓迎会	園児 17 名　新入児を歓迎して、年長児が手作りプレゼント
	26	金	子どもの日祝会	園児 17 名
5	12	水	保護者草取り奉仕	保護者 26 名　職員２名
	20	月	交通安全教室（大館警察署）	園児 15 名 大館市交通指導隊６名　市民生活課担当職員１名
	22	水	さつま芋苗植・世代間交流事業	年長中児９名・保育士２名
	24	金	保育参観	園児 17 名 保護者 18 名
	24	金	南小学校区保小連絡協議会	1 年生授業参観、協議、情報交換 職員 2 名 教諭 5 名
6	2	日	地区運動会	園児１５名 保護者多数 職員５名
	8	土	運動会	園児１７名　保護者、家族多数・来賓２名 桂桜高校ボランティア部生徒８名 南中学生子どもハローワーク１名
	10	水	交流保育（真中保育所と）	ばら園見学・桂城公園 年長中児９名・職員２名
	12	水	歯科検診	園児１７名・髙橋歯科医師・衛生士
7	5	金	七夕集会	園児１７名
	8	月	個人面談　９日～13 日	全保護者
	17	水	法人合同避難訓練	社会福祉事業団職員７名
	24	木	国際情報学院生インターンシップ（～２６日）	高校生１名
	30	火	保育体験　施設見学 （南小学校教諭）	校長　教諭５名
	30	火	交流保育（真中保育所と）	ブルーベリー摘み 年長中児８名・職員２名
8	7	水	歯みがき指導	園児１７名・南中学生８名・教諭１名・歯科衛生士１名
	20	火	交流保育（真中保育所へ）	年長中児７名・職員２名　お店屋さんごっこ　運動遊び
	27	火	子ども課　要請訪問	保育指導員・保育アドバイザー…３名
9	5	木	ふれあい交流学習	南中２年生 25 名 教諭２名 中学生と交流
	6	金	親子バス遠足	園児 15 名・保護者 17 名 職員５名 秋田内陸縦貫鉄道基地見学
	9	月	交流保育・真中保育所へ	年長中児８名・職員２名　りんご狩り　ひまわりの

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
				種収穫
	17	火	超人ネイガー交通安全教室	園児１６名・保護者５名・真中保育所（園児１２名・職員３名）
	16	日	二井田地区敬老会参加	年長中児 14 名・保護者他 30 名・職員 4 名
	20	木	健康診断	園児 11 名・梅内小児科クリニック医師・看護師
１０	3	水	歩き遠足	園児 16 名・保育士 4 名
	10	木	さつま芋掘り・世代間交流事業	年長児 8 名・保育士 3 名
１０	15	火	総合防犯訓練	園児 17 名 職員 5 名
	16	水	南小学校 学習発表会予行参観	年長児 8 名・職員 2 名
	18	金	祖父母交流会・焼き芋会	園児 17 名・祖父母 18 名
	23	水	総合避難消火訓練	園児 15 名
	31	木	南小学校 就学時健診	年長児 5 名
	31	木	ハロウィン楽しみ会	園児 17 名 保護者と町内の方多数、郵便局、公民館
１１	1	金	ふれあい交流会・南小学校	１．２年生と交流 年長児 5 名 職員 2 名
	3	日	二井田公民館文化祭	園児 16 名・保護者・家族多数 職員 5 名
	6	水	親子歯科講習会	園児 15 名・保護者 14 名・髙橋歯科医師・衛生士・技工士
	8	金	祖父母交流会・おにぎり会食	園児 16 名・祖父母と保護者 18 名
	14	木	七五三お祝い	園児 17 名
	19	火	子ども課所内支援	指導員 3 名・地域連携委員、公民館長富樫氏・南小学校長
１２	7	土	おゆうぎ会	園児１７名　保護者 家族 多数 公民館長富樫氏・南小学校長
	20	金	クリスマス会	園児 17 名・ 保護者１８名・少年自然の家職員 1 名
1	9	木	保育体験	子どもハローワーク（南小学校４名）
	15	水	交流保育・真中保育所から	園児 20 名 真中保育所年長中小児 職員
	22	水	交流保育・真中保育所へ	年長・中児 8 名　職員 2 名
	24	金	体験入学・南小学校	年長児 5 名 保護者 5 名　職員 2 名
	31	金	節分集会	園児 20 名 少年自然の家職員 1 名
2	6	木	交流保育・真中保育所から	園児 20 名 真中保育所年長中小児１２名 職員３人
	12	水	足型とり	園児 20 名
	13	木	２年度健康診断 入園説明会・新入児面接	健康診断対象児 15 名・新入児保護者 2 名
	14	金	保育参観 親子お楽しみ会（５歳児）	園児 20 名・保護者 17 名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	20	火	避難訓練 通報引き渡し訓練	園児２０名　職員５名
3	3	火	ひな祭り会	園児 20 名
	4	水	お別れ会	園児 20 名
	5	木	卒園・終了記念写真撮影	園児２０名　職員５名
	6	金	南小学校区保小連絡協議会	連携事業確認 情報交換 職員２名 教諭６名
	14	土	卒園式	卒園児５名　保護者５名　職員６名

・毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

令和２年度　年間事業報告（花岡保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	6	月	入園式	新入児２名、新入児保護者２組、来賓なし
	7	水	進級式	園児 13 名
5	8	金	畑作り、野菜の苗植え	園児１３名、地域の方なし　野菜の苗植え・種まき
	10	日	花岡小学校運動会参加	不参加
	21	木	保育参観日	中止
	27	水	チャレンジデー	中止
6	1～8	月～月	保護者草取り奉仕１回目	園舎の周囲、保護者の都合のつく時間で
			親子バス遠足	中止
			ローズガーデン見学	中止
			神山荘シルバーオリンピック参加	中止
	17	水	健康診断	園児 14 名、石田内科医院医師１、看護士２
7	2	木	花岡小七夕交流	園児 14 名、花小２年生９名、七夕飾り制作
	8	水	こども読書の会（矢立保・沼館保交流）	園児 14 名、矢立保育所園児６名、沼館保育所園児 10 名、絵本読み聞かせ、交流保育
	15	水	ドローン飛行見学	園児 14 名、矢立保育所園児１名、(株)秋田工営の方 10 名、ドローン飛行の見学、地域交流
	22	金	夕涼み会	夏祭りに変更、園児 14 名、出店ごっこ
			子どもハローク	中止
8	4	火	木育ひろば(矢立保育所交流)	園児 13 名、矢立保育所園児８名、生涯学習課３名 木のおもちゃで遊ぶ
	5～7	水～金	花岡小ハローワーク	花岡小 2～6 年生１日２名ずつ、職場体験、普段の遊び
9	7～15	月～月	保護者草取り奉仕２回目	園舎の周囲、保護者の都合のつく時間で
	10	木	りんご狩り	5 歳児４名、4 歳児３名、引率２名、赤石富樫りんご園、矢立保育所と合同、事業団レンタカー
			敬老会	中止
	24	木	総合避難訓練	園児 13 名、消防北分署署員３名、避難訓練
１０	1～１５	火～火	個人面談	保護者の都合に合わせて全員行う
	6	火	歯科検診	園児 13 名、こう歯科医院３名
	9	金	ミニ運動会	園児１３名、１家族２名見学、縮小して行う
	15	木	秋の遠足	福祉エリアへ１３名全員、職員４名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	19	月	さつま芋掘り	園児 13 名
	28	水	焼き芋会　矢立保育所交流	園児 13 名、職員 5 名　矢立保育所にて焼き芋体験他、事業団ワゴン車
11			花岡地区産業祭	中止
			虫歯予防指導	中止
			総合防犯訓練	中止
	26	水	りんご狩り	園児 13 名地元の方から毎年招待、6 個ずつもらう
12	5	土	お遊戯会	園児 13 名、保護者 12 名
			祖父母交流会	中止
	21	金	クリスマス会	園児 13 名、少年自然の家職員 2 名、ゲーム他
1	20	水	保小新春カルタ大会	4・5 歳児 6 名、花岡小学校 1 年生 4 名、鳥潟会館にて花岡カルタ
	22	金	保育参観日	園児 13 名、保護者 10 組、触れ合い遊び、鬼の面作り
2	2	火	豆まき	園児 13 名、少年自然の家職員 1 名、ゲーム他
	3	水	花岡小学校 1 日体験入学	5 歳児 4 名、引率 1 名、保護者同伴
	10	水	健康診断	新入園児 2 名、園児 13 名、新入児面談・説明会
3	3	水	ひなまつりお茶会	園児 13 名、年長児がお茶をたて、みんなでいただく
	11	木	おわかれ会	園児 13 名、プレゼント交換、お寿司会食
	19	金	卒園式	園児 13 名、卒園児保護者祖 5 名、来賓・花岡小校長保育証書授与他、縮小で行う

毎月の行事　　・身体測定・交通指導・避難訓練・防犯訓練・誕生会(9 月から毎月カレー会食)・絵本読み聞かせ（矢立保育所との交流の月もある）

令和２年度　年間事業報告（矢立保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	土	入所式・進級式	園児６名　　保護者９名
			花岡保育所との交流 （絵本読み聞かせ）	7／8（水）から交流開始
5	16	土	地区祭典（神社参拝）	中止
	18	月	２５日まで個人面談	
	21	木	さつまいも、じゃがいも種芋植え、野菜苗植え	園児６名
	26	火	矢立小学校避難訓練に参加	園児６名
	27	水	保育参観	10／22(木)に変更
6	4	木	歯科検診	９/３(木)に変更
	5	金	親子バス遠足	中止
	9	火	ばら園見学	中止
	10	水	矢立小学校 1.2 年生との交流①	園児４名　小学 1.2 年生７名　教頭他２名
			花岡保育所との交流 （絵本読み聞かせ）	７/８(水)から交流開始
	18	木	健康診断	園児６名　梅内小児科クリニック
	30	火	探検ごっこパート１	園児６名　電車で碇ヶ関へ
7	8	水	花岡保育所との交流① （絵本読み聞かせ）	園児６名
	13	月	矢立小学校 1.2 年生との交流②	園児４名　小学 1.2 年生７名　校長他２名
	14	火	小学校との防犯訓練	園児５名　小学校からの電話連絡で保育所も行う
	15	水	花岡保育所との交流４歳児②(ドローン見学)	園児１名
	21	火	27(月)、29(水) ブルーベリー狩り３回	園児６名　地域の日景さん宅(無料)
	27	月	～８/21 小学校プール使用	中止
	28	火	子どもハローワーク (保育士体験)	園児５名　矢立小学校５年生１名
	30	木	子ども課による訪問指導	園児６名　指導員・アドバイザー２名
8			プール参観日 (4 歳児小学校プール)	中止
	4	火	花岡保育所との交流③ (木育ひろば)	園児６名
	7	金	流しそうめん会	園児６名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	7	金	夕涼み会	園児６名　保護者等１０名
	19	水	じゃがいも堀り	園児５名
			矢立地区敬老会参加	中止
9	3	木	歯科検診	園児６名　神成歯科医院２名
	10	木	りんご狩り（花岡保育所④、真中保育所との交流）	4 歳児１名　りんご狩り後、３保育所で交流
	１９	土	運動会	園児６名　　保護者・祖父母１９名
	24	木	矢立小学校学習発表会予行見学	園児６名
	２８	月	交通安全教室	園児５名　交通安全協会矢立支部４名
１０	1	木	探検ごっこパート２	園児６名　電車で碇ヶ関へ
			親子歯科講習会	中止
	16	金	北教育事務所要請訪問	園児５名
	19	月	さつまいも掘り	園児５名
	23	金	保育参観 子育て講座(パン作り)	園児５名、保護者７名、 講師‥小山 久美氏
	28	水	焼きいも会　花岡保育所との交流⑤	園児５名　花岡保育所園児１３名来所
１１			公民館祭り	中止
	6	金	防犯訓練教室	園児５名　大舘警察署３名
	10	火	矢立小学校との交流③	園児５名　小学校に出かける
	11	水	花岡保育所との交流⑥	4 歳児１名
	14	土	餅つき会(公民館子育て講座)	中止
１２	5	土	お遊戯会	園児５名 保護者・祖父母２２名
	8	火	矢立小学校との交流④	園児５名　小学３年生９名
	9	水	花岡保育所との交流⑦	4 歳児１名
	22	火	クリスマス会・誕生会	園児５名
			デイサービス花慰問	中止
1	19	火	引き渡し避難訓練	園児５名
	26	火	花岡保育所との交流⑧	4 歳児１名
	27	水	花岡保育所との交流⑨	4 歳児１名
	28	木	R3 年度入所児健康診断	2 歳児３名、3 歳児３名、4 歳児３名、5 歳児１名 梅内小児科クリニック２名
2	2	火	豆まき	園児５名
	9	火	花岡保育所との交流⑩	4 歳児１名
	13	土	R3 年度入所児説明会	保護者５名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
3	3	水	ひな祭りお茶会	園児５名
	9	火	花岡保育所との交流⑪	4 歳児１名
	12	金	保育参観・お楽しみ会	園児５名　保護者８名
	19	金	修了式	修了児５名　保護者６名

・毎月の行事　避難消火訓練、防犯訓練、交通指導、身体測定、お誕生会

令和２年度　年間事業報告（長木保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	土	令和２年度入所式	児童 15 名・保護者/45 名
	21	日	水交苑お花見会	要請なし
5	1	金	子どもの日集会	全児童 52 名（欠 5）/制作したこいのぼりの紹介、歌、お話
	15	金	じゃが芋種芋植え	3.4.5 歳児 45 名
	22	金	さつま芋苗植え 年長組夏野菜の苗植え	3.4.5 歳児 49 名・2 歳児応援 年長児夏野菜を植える。
	25	月	5 歳児個人面談(～6/6)	保護者の希望で実施
	30	土	チャレンジデーin 大館に参加	中止
	6/5	金	親子バス遠足（親の会主催）保育参観	中止
6	4	火	児童歯科検診	変更
	7	金	所内研究会	5 歳児指導計画見直し研究（職員 8 名）
	9	日	長木地区運動会	中止
	10	月	長木小学校 1 年生授業参観	計画中止
	15	月	2・4 歳児個人面談（～6/19）	保護者の希望で実施
	12	金	年長組お泊り保育	中止
7	1	月	草取り奉仕（～11 日）	保護者/園庭草取り奉仕中止
	7	火	七夕集会	児童 58 名（欠席 3）/七夕飾り・願い事の紹介・写真撮影
	16	木	公民館夏のお楽しみ会参加	中止
	18	金	夕涼み会（親の会主催）	中止。子ども達だけで夕涼み会ごっこをする
	20	月	3 歳児個人面談（～30 日）	保護者の希望で実施
8	3	月	自由保育参観（～4 日）	中止
	6	木	じゃがいも掘り	3・4・5 歳児 46 名　欠席 2 名/2 歳児応援
	7	金	子ども課所内研究支援	子ども課アドバイザー2 名
9		日	長木地区敬老会参加	中止
	7	月	親の会草取り奉仕の週	保護者/園庭草取り奉仕
9		日	雪沢地区敬老会参加	中止
		火	水交苑ディサービスのぎく慰問	要請なし
		木	公民館長寿学級交流会	中止

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	16	水	運動会ごっこ	全児童 60 名/長木小グランド使用。園児だけで行う。
	15	火	歯科検診	60 名受診
	8/28	金	総合避難訓練（地震・火災）	全児童 53 名（欠 7）・消防士 2 名/水消火器体験
		日	水交苑祭参加	要請なし
１０	2	金	北教育事務所要請訪問	幼保指導員/保育アドバイザー 2 名
	9	金	歩き遠足（郷土博物館）	全児童 59 名（欠 1）/郷土博物館で自然探索、2 歳児芦田子の個人宅庭
	14	水	さつまいも掘り	全児童 59 名（欠 1）
	21	火	やきいも会	全児童 57 名（欠 3）祖父母 1 名・/収穫したさつま芋を焼いて食す。さつまいもを地域に届ける。（三浦木材）
	27	火	防犯実施訓練・防犯教室	児童 50 名（欠 8）/大館警察官による訓練
	31	木	ハロウィンごっこ	中止
１１	6	水	防犯避難訓練・防犯教室	全児童 56 名（欠 2）/大館警察署・スクールサポーター
			親子歯科講習会	計画中止
	15	日	長木公民館祭	中止
	18	月	フッ化物洗口指導	年長児 10 名/フッ素洗口確認・お話/健康課歯科衛生士
１２	2	水	発表会ごっこ	児童 60 名/保護者参加なし。園児のみで行う。
	8	火	杉ツリー贈与	児童 49 名（欠 9）/米代東部森林管理署より提供
	16	水	祖父母交流会	中止
	23	水	クリスマス会	児童 59 名（欠 1）/少年自然の家職員のサンタと記念写真
			ショートステイとんぼ慰問	要請なし
	29	火	年末年始休み	～1/3
1	23	金	保育参観日・親の会	中止
	18	月	５歳児個人面談（～29 日）	保護者の希望で実施
	22	金	避難訓練（引き渡し訓練）	児童 53 名（欠 5）降所時に引き渡し用紙に記入
	27	水	令和 3 年度入所児童健康診断・面接	令和 3 年度入所児童 46 名・新入児保護者/健康診断・面接
2	1	月	保・長木小情報交換	年長組担任/新 1 年生情報交換
	2	火	豆まき会（鬼役…少年自然の家職員）	児童 58 名（欠 2）/豆まき・お話/各クラスに分かれて行う
	24	水	総合避難訓練（通報訓練）	児童 57 名(欠 3)/避難誘導と通報の訓練をする。

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	10	水	卒園記念写真撮影	児童 59 名（欠席 1）/欠席児童後日取り直し
		金	保・小交流会	年長児 10 名/長木小 1 年生との交流会・学校探検他
	12	金	お別れ遠足	年長児 10 名/消防署・図書貸し出し体験・マックの昼食・木育遊び
	17	水	バイキング会食	児童 56 名（欠 2）/親の会補助により会食、年長盛り付け中止
	13	土	R3 年度入所説明会	新入所児童保護者/保育方針・内容・持ち物説明
	3/1	月	保・長木小情報交換	年長組担任/新 1 年生情報交換
3	3	火	ひな祭り会	児童 51 名（欠 7）/クラスごとに行う。
	17	水	お別れ会	児童 58 名（欠 2）/親の会お弁当会食・プレゼント交換
	26	金	修了式	２・３・4 歳児クラスで行う。/証書の手渡し
	27	土	卒園式	卒園児 21 名/保育証書授与、他　縮小挙行

毎月の行事：誕生会、交通安全指導、避難訓練、防犯訓練、シーツ洗濯、布団・内ズック持ち帰り、絵本配布、絵本代集金